

平成二十二年 全国学力・学習状況調査

解説資料 小学校 国語

平成二十二年四月

国立教育政策研究所
教育課程研究センター

はじめに

平成二十二年度全国学力・学習状況調査は、小学校第六学年及び中学校第三学年の児童生徒を対象に、四月二十日に実施されました。

調査の目的は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立すること、また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることです。

調査の内容は、教科に関する調査（国語と算数・数学）と生活環境や学習環境等に関する質問紙調査（児童生徒対象と学校対象）があり、教科に関する調査は、主として「知識」に関する問題と、主として「活用」に関する問題の二種類からなります。

主として「知識」に関する問題は、①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、②実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていくことが望ましい知識・技能などを調査するものです。また、主として「活用」に関する問題は、①知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、②様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容を調査するものです。

国立教育政策研究所教育課程研究センターにおいては、教科に

関する調査に係る調査問題の作成と調査結果の分析を担当しております。

この調査においては、児童生徒一人一人の学力や学習状況の把握はもとより、今後の指導や学習の改善に生かしていくことが重要であるため、調査問題の作成に当たっては、学習指導要領に示されている内容が正しく理解されるよう留意するとともに、児童生徒に身に付けさせたい力として重視されるものについての具体的なメッセージとなるように努めました。

本資料は、教科に関する調査に係る調査問題について、実施後速やかに、学校における児童生徒への学習指導の改善等に役立てることができるよう、出題の趣旨や正答とその解説などをまとめたものです。

各学校や教育委員会において、日常の学習指導や教育施策の改善・充実に生かしていただければ幸いです。特に、学校においては、当該学年以外の先生方や当該教科以外の先生方を含め、学校全体で活用していただきたいと考えております。

最後に、本調査の実施に当たり御協力いただきました皆様、調査に参加していただいた教育委員会、学校の皆様、本資料の作成に当たり御協力いただきました皆様に心から御礼申し上げます。

平成二十二年四月

国立教育政策研究所 教育課程研究センター長

作花 文雄

●本書の目的

本書は、平成二十二年 度全国学力・学習状況調査の実施後速やかに、学校における児童生徒への学習指導の改善等に役立てることができるよう、教科に関する調査に係る調査問題についての解説などをまとめたものである。

調査問題は、設問ごとの正答率や解答の状況から学習上の課題を把握し、学習指導の改善等につなげることができるよう作成している。

本書においては、問題ごとの出題の趣旨や正答とその解説、その問題と関連して今後の学習指導において参考となる事柄を記述するとともに、設問ごとに予想される解答を整理した解答類型を掲載した。

教科に関する調査については、設問ごとに 出題の趣旨に即して解答として求める条件を定め、これに基づいて採点を行っている。解答類型は、採点の際に単なる正誤のみならず、具体的な解答の状況からも学習上の課題をとらえ、学習指導の改善等につなげることができるよう、解答を分類するために設定しているものである。

各設置管理者における採点や調査の結果を踏まえた学習指導の改善等を行うに際し、本書を有効に御活用いただきたい。

●本書の内容・構成

I 小学校国語科の調査問題作成に当たって

調査問題作成の基本方針として、調査問題の出題範囲、問題作成の枠組みについて解説した。

II 調査問題の解説

問題ごとに、出題の趣旨や正答とその解説などについて記述した。

1 出題の趣旨

問題ごとに把握する力やその意義、場面設定などについての解説を記述した。

2 問題（各設問）の正答等

設問ごとの正答及び誤答などについての解説を記述した。

3 学習指導に当たって

問題と関連して、今後の学習指導において参考となる事柄を記述した。

4 出典等

著作物からの出題の場合、書名や著者名などを記述した。

Ⅲ 調査問題等

調査問題、解答用紙及び正答（例）を掲載した。なお、著作権の都合により問題の一部を省略した。

※ 本調査においては、障害のある児童生徒や日本語指導が必要な児童生徒に対して、点字問題、拡大文字問題、総ルビ付き問題を用意した。

なお、点字問題については、問題が一部異なっており、本書ではその部分を掲載した。

（裏表紙の方から見るページ）

1 調査問題一覧表

問題の概要、出題の趣旨、学習指導要領の領域等、評価の観点、問題形式を一覧表にまとめた。

2 解答類型

解答類型は、具体的な解答の状況からも学習上の課題をとらえ、学習指導の改善等につなげることができるよう、設問ごとの正答、予想される誤答、無解答などを分類し整理したものである。

正答については、設問の趣旨に即して解答として求める条件を定め、その条件をすべて満たしているものを◎で表し、設問の趣旨に即し必要な条件を満たしているものを○で表した。

なお、解答類型には次のように番号を付けた。

類型1～類型8（最大）：正答・予想される誤答の類型（複数の類型が正答となる問題もある。）

類型9：「上記以外の解答」（類型1から類型8までに含まれない解答。）

類型0：「無解答」（解答の記入のないもの。）

3 質問紙調査項目（教科関連部分）

質問紙調査項目のうち、小学校国語科の教科に関する項目を掲載した。

目次

(裏表紙の方から見るページ)

I	小学校国語科の調査問題作成に当たって	5
II	調査問題の解説	
A	主として「知識」に関する問題	11
1	漢字を読んだり書いたりする	12
2	文章の内容を把握する	14
3	登場人物を関係付けて読む	16
4	文の論理を考えて書く	18
5	意見文の構成の効果を考えて書く	20
6	話の全体の構成を工夫する	22
7	多義語の意味を理解する	24
8	共通語と方言の使われ方を理解する	26
9	複合語の構成を理解する	28
B	主として「活用」に関する問題	31
1	読み手の評価を生かす(学校新聞)	32
2	読書発表会をする(つりずきの宇宙人)	36
3	写真を使って発表する(家の屋根の形)	42
4	情報を関係付けて読む(目覚まし時計)	48
III	調査問題等	
	国語A(主として「知識」に関する問題)	53
	国語B(主として「活用」に関する問題)	69
	解答用紙	85
	正答(例)	89
	点字問題(抜粋)	93
1	調査問題一覧表	1
A	主として「知識」に関する問題	2
B	主として「活用」に関する問題	3
2	解答類型	
A	主として「知識」に関する問題	5
B	主として「活用」に関する問題	11
	点字問題部分	21
3	質問紙調査項目(教科関連部分)	23

I 小学校国語科の調査問題作成に当たって

1 調査問題の基本的な枠組み

小学校国語科の調査問題は、「全国的な学力調査の具体的な実施方法等について（報告）」（平成十八年四月）の問題作成の基本理念を基本的な枠組みにしている。

○ 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようなになっていることが望ましい知識・技能など（主として「知識」に関する問題）

○ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容など（主として「活用」に関する問題）

この二つの出題範囲・内容からも明らかのように、基本理念には、「実生活」に立脚する学力が含まれている。これは、学校で学習してきた知識・技能等が、児童生徒を取り巻く様々な生活場面において、活用できるようにすることが求められているからである。児童生徒にとつての「実生活」は、学校における各教科等の学習に加え、家庭生活や地域での生活を含めたものである。

国語の側面から考えると、読書などに親しむ生活（読書生活）、音声や文字で表現する生活（表現生活）など、言語生活を重視することが求められる。

また、報告書では、調査問題自体が学校の教員や児童生徒に対して、土台となる基盤的な事項を具体的に示すとともに、教員による指導改善や児童生徒の学習改善・学習意欲の向上などに役立つ

つことを重視している。国語科の調査問題においては、次のような観点を盛り込むことや工夫することが考えられるとしている。

■主として「知識」に関する問題

- ・ 描写、要約、紹介、説明、記録、報告、対話、討論などの基礎的な言語活動に関すること
- ・ 表現したり理解したりするための言語事項の基礎的な知識・技能に関すること
- ・ 我が国の言語文化に親しむ内容に関すること など

■主として「活用」に関する問題

- ・ 日常生活や社会生活で必要とされる読書・鑑賞・創作などの言語活動の活用に関すること
- ・ 文章を読んで筆者の主張の内容やその表現方法などを評価すること
- ・ 伝えたい内容をまとめ表現すること
- ・ 様々なメディアを活用することによって課題を多角的に探究すること など

これらに加え、報告書では、調査問題の内容や形式などについて、次のような点にも配慮することを求めている。

- 学習指導の上で特に重要な点や課題になっている点に焦点を当てること
- 個々の児童生徒への助言につながる点や課題解決の過程において違いが見られやすい点に焦点を当てること
- 児童生徒が自分自身の学習改善や問題解決に役立つ点に配慮すること
- 読解力向上プログラムなどと連動させた問題を考慮すること

さらに、国際的、科学的視点から質の高い調査問題の開発が期待されている。そこで、OECD（経済協力開発機構）によるPISA調査の概念的な枠組みの基本である主要能力（キーコンピテンシー）の考え方や多様なテキスト、出題の仕方なども参考にすることにした。

このような考え方にに基づき、出題の範囲・内容は、国の教育課程の基準としての小学校学習指導要領国語（平成十年告示）の目標及び内容によるものとした。

なお、調査時期が第六学年の四月であるので、第五学年の終了段階において習得すべき指導内容を出題範囲とした。

2 調査問題の出題範囲・内容

(1) 学習指導要領の指導内容

調査問題は、小学校学習指導要領国語（平成十年告示）の目標及び内容に基づき、第五学年終了段階における基盤的な内容とした。具体的には次のような内容である。

■A話すこと・聞くこと

- ・話すことに関する指導事項
- ・聞くことに関する指導事項
- ・話し合うことに関する指導事項

■B書くこと

- ・目的意識・相手意識、自分の考えに関する指導事項
- ・取材に関する指導事項
- ・構成に関する指導事項

- ・記述に関する指導事項
- ・推敲・評価に関する指導事項

■C読むこと

- ・読書的な読むことに関する指導事項
- ・叙述内容に即した読むことに関する指導事項
- ・想像的な読むことに関する指導事項
- ・事象と感想、意見にかかわる読むことに関する指導事項
- ・目的的な読むことに関する指導事項
- ・声に出して読むことに関する指導事項

■言語事項

① 言語に関する指導事項

- ・発音・発声に関する事項
- ・文字に関する事項
- ・表記に関する事項
- ・語句に関する事項
- ・文語調の文章に関する事項
- ・文及び文章の構成に関する事項
- ・言葉遣いに関する事項
- ② 書写に関する指導事項

なお、調査問題は、前述した「主として『知識』に関する問題」と

「主として『活用』に関する問題」に即して、二種類の冊子を作成した。

「国語A」を「主として『知識』に関する問題」の冊子とし、解答時間として二十分を配当した。「国語B」は、「主として『活用』に関する問題」の冊子として四十分を配当した。

(2) 主として「知識」に関する問題の内容

「国語A」で出題した内容や趣旨は、次のとおりである。

問題番号	問題の内容	関連する主な指導内容	出題の趣旨
1	漢字を読んだり書いたりする	言語事項 (1) ア(ア)	学年別漢字配当表の当該学年の前の学年までに配当されている漢字を正しく読んだり書いたりする。
2	文章の内容を把握する	読むこと イ	説明的な文章の内容を的確に押さえながら読む。
3	登場人物を関係付けて読む	読むこと ウ	文学的な文章に登場する人物を相互に関係付けて読む。
4	文の論理を考えて書く	書くこと エ 言語事項 (1) オ(ウ) (第三・四学年)	文と文との意味のつながりを理解し、文の論理を考えて書く。

5	意見文の構成の効果を考えて書く	書くこと ウ	自分の考えが明確になるように、文章全体の構成の効果を考えて書く。
6	話の全体の構成を工夫する	話すこと・聞くこと ア	聞き手が理解しやすいように、話の全体の構成を工夫する。
7	多義語の意味を理解する	言語事項 (1) ウ(ウ) (エ)	文脈に適した多義語の意味を理解する。
8	共通語と方言の使われ方を理解する	言語事項 (1) カ(イ)	共通語と方言との違いを押さえ、それぞれの使われ方を理解する。
9	複合語の構成を理解する	言語事項 (1) ウ(イ)	語句の構成や語形の変化を理解する。

このように、学習指導要領の三領域一事項にわたって出題した。

(3) 主として「活用」に関する問題の内容

「国語B」で出題した内容や趣旨は、次のとおりである。

問題番号	問題の内容	関連する主な指導内容	出題の趣旨
1	読み手の評価を生かす 〈学校新聞〉	書くこと ア・オ	目的や意図に応じて、読み手が評価した内容を整理し、表現の効果などについて確かめたり工夫したりする。
2	読書発表会をする 〈つりずきの宇宙人〉	読むこと ウ 言語事項 (1) オ(ア)	目的や意図に応じて、文章の内容や構成の効果をとらえ、自分の考えをまとめる。
3	写真を使って発表する 〈家の屋根の形〉	話すこと・聞くこと ア・イ	目的や意図に応じて、資料を活用しながら話し方を工夫したり、話の中心や話し手の意図をとらえて質問したりする。
4	情報に関係付けて読む 〈目覚まし時計〉	読むこと エ・オ	目的や意図に応じて、必要な情報に関係付けて読み、理由を明確にして説明する。

このように、まとまった言語活動の中で知識・技能等を活用できるかどうかをみるために、三領域一事項の中から複数の指導内容を含めて取り上げた。

3 問題形式

問題形式については、次の三種類とした。

■ 選択式：数種の項目群の中から適切な項目を選択する方式である。

■ 短答式：短い語句や文、または数値等で解答する方式である。文章や資料からの情報の取り出しなどである。

■ 記述式：相手や目的、意図に応じて自分の意見や提案、理由や根拠、紹介や報告などをまとめ、一定以上の文字数で記述する方式である。

記述式の問題では、知識・技能等を生かし、相手や目的、意図、場面や状況などに応じて言語を操作したり運用したりする活用の能力をみる。「書くこと」の問題に加え、「話すこと・聞くこと」、「読むこと」の問題においても記述式を採用する。

(1) 「話すこと・聞くこと」における記述

「話すこと・聞くこと」の指導においては、相手や目的、意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話す順序や構成を工夫し、適切な言葉遣いで話す能力を高めるとともに、話の中心や話し手の意図をとらえながら聞き、質問したり感想や意見を述べたりする能力を高めることが重要である。

記述の側面からみると、スピーチ原稿などのように話す事柄を分かりやすく整理して書いたり、インタビュー記録などのように聞いた事柄やそれらに対する感想、意見などを区別して書いたり

するように指導することが大切である。

今回出題した「国語B」の問題③「写真を使って発表する（家の屋根の形）」の設問二は、「話す・聞く能力」を問うものである。ここでは、話し手が聞き手に対して問いかけた効果についての説明を記述するようにした。

(2) 「書くこと」における記述

「書くこと」の指導においては、相手や目的、意図に応じて、調べたり考えたりしたことなどを、全体の構成を考えて文章に書く能力を高めることが重要である。

記述の側面からみると、礼状や依頼状、意見文、紹介文、記録文、報告文など様々な様式の特徴を踏まえた上で、一連の書くプロセスに即して指導することが大切である。特に第五・六学年において、記録や報告などをまとめる場合、経験した事実等を客観的に記述するとともに、経験等を通して考えたことや得たことなどを明確にして記述することが必要となる。

今回出題した「国語B」の問題①「読み手の評価を生かす（学校新聞）」は、「書く能力」を問うものである。ここでは、設問としては設定していないが、学校新聞の内容や表現を推敲し、よりよく改善するために、読み手が評価した内容をノートに整理したり、それらに対する自分の考えをまとめたりする場面を設定している。

(3) 「読むこと」における記述

「読むこと」の指導においては、目的に応じ、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえて自分の考えを明確にしながらかんたりにする能力を高めることが重要である。

記述の側面からみると、目的に応じて本や文章を読み、その内容や構造、特徴について理解したことや、要旨や書き手の意図について解釈したり評価したりしたことをまとめて書くように指導することが大切である。読んだり調べたりしたことを報告したり説明したりする場合、必要に応じて大事なことを引用したり要約したりして書くことが必要となる。また、自分の考えを高めるために読む場合は、自分を取り巻く現実や今までの読書経験、体験などと感動や感想、意見などを結び付けて記述することが必要となる。

今回出題した「国語B」の問題②「読書発表会をする（つりずきの宇宙人）」の設問一(1)・設問二、問題④「情報を関係付けて読む（目覚まし時計）」は、「読む能力」を問うものである。問題②では、指示された本文の一部を要約したり、全文を読んで思ったことや考えたことについて理由を明確にして記述したりするようにした。問題④では、必要な情報を効果的に読み、理由となる説明を記述するようにした。

4 評価の観点について

評価の観点については、国語科で行われている「国語への関心・意欲・態度」、「話す・聞く能力」、「書く能力」、「読む能力」、「言語についての知識・理解・技能」の五つの観点を用的にした。

なお、国語への関心・意欲・態度の観点については、各設問で取り上げた実際の授業場面や実生活での活用場面などにおいて、その観点が深く関与している場合に設定した。

Ⅱ 調査問題の解説

A 主として「知識」に関する問題

一次の(1)から(3)までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いていねいに書きましょう。

(1) 新しいクラスに 慣れる。

(2) 本の 目次 を見る。

(3) いつも 清潔 なハンカチを持つ。

二次の(1)から(3)までの文の——部のひらがなを、漢字で書いていねいに書きましょう。

(1) ひさし しぶりに おじさんに会う。

(2) ぎじゆつ が進歩する。

(3) 星の位置が へんか する。

1 出題の趣旨

学年別漢字配当表の当該学年の前の学年までに配当されている漢字を正しく読んだり書いたりすることができるかどうかをみる。

文の中で指示された漢字を正しく読んだり、指示されたひらがなを正しい漢字で書いたりする問題である。

ここでは、既習漢字の定着状況をみるために、第五学年の配当漢字のみならず、第一学年（「目」）や第三学年（「次」「化」）、第四学年（「清」「変」）の配当漢字も取り上げた。漢字がもつ意味を、文脈に合わせて考えながら正しく読んだり、へんやつくりなどの構成に注意して書いたりすることが求められる。

本問と過去の調査との関連をみると、今回取り上げたすべての漢字はこれまでに出題したものである。（※参考）

漢字を正しく読み、正しく書く力は、表現したり理解したりするために必要な基礎的な知識や技能であり、漢字を含む語彙の拡充を図るためにも重要である。また、各教科等の学習の基盤であり、日常生活に欠かせない知識や技能となる。

■学習指導要領における領域・内容

言語事項（第五・六学年）

(1) ア 文字に関する事項

(ア) 第五学年及び第六学年の各学年においては、学年別

漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書くようにすること。

■評価の観点

言語についての知識・理解・技能

2 各設問の正答等

設問一

(1) 正答について

■正答

- (1) な(れる)
 (2) もくじ
 (3) せいけつ

設問二

(1) 正答について

■正答

- (1) 久(しぶりに)
 (2) 技術
 (3) 変化

3 学習指導に当たって

(1) 文や文章の中で漢字を使う

学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読み、当該学年の前学年に配当されている漢字を書くことができるようにすることが必要である。そのためには、日常的に文や文章の中で漢字を使おうとする態度が身に付くようにするとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、適切に使うことができるように指導することが大切である。

(2) 漢字を使った語彙の拡充を図る

学年の進行に合わせて語彙の拡充を図るとともに、獲得した語彙を、漢字を使って表現できるようにすることが重要である。そ

のためには、特に同音異義や同訓異義の漢字に気を付けて、漢字がもつ意味を考えながら正しく使う習慣が身に付くように指導することが大切である。

(3) 国語辞典や漢字辞典を利用して調べる

漢字を正しく読んだり書いたりするためには、国語辞典や漢字辞典を積極的に利用して調べる習慣を付けることが必要である。このことは、国語科の学習のみならず、各教科等の学習においても重要であり、自分で読み書きのできない漢字や難語句を調べ、繰り返し読んだり書いたりして定着するように日常的に指導することが大切である。

(※参考) 過去の調査との関連

設問	実施年度(実施学年)	正答率(%)
設問一(1)	平成十五年(第五学年)	九三・四
設問一(2)	昭和四十一年(第五学年)	八〇・五
	平成五年(第五学年)	八八・六
	平成十三年(第五学年)	九二・九
設問一(3)	平成十六年(第五学年)	八二・〇
設問二(1)	平成十五年(第五学年)	七九・二
	平成十六年(第六学年)	七四・〇
設問二(2)	昭和三十四年(第六学年)	四三・一

〔過去の調査〕

- 昭和三十四年度全国学力調査
- 昭和四十一年度全国小学校学力調査
- 平成五・十三・十五年度小・中学校教育課程実施状況調査
- 平成十六年度特定の課題に関する調査

2 文章の内容を把握する

2 次は、坂本さんの町で五月の連休に行われる「農産物祭り」について書かれた文章の一部です。
ア・イ の中に入る言葉の組み合わせとして正しいものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

今年も五月の連休に、県内各地の野菜や果物などを販売したり、それらを使った料理を紹介したりする「農産物祭り」が行われる。祭りの会場には、いろいろな店が出る。昨年は、四十の店が出た。今年は、六十の店が出る予定である。祭りに集まる人の数は、店の数に関係があるということが分かっている。店の数が多い年にはたくさんの方が集まり、少ない年にはあまり集まらない。
ア こうしたことから、今年の祭りに集まる人の数は、昨年集まった人の数よりも出した数よりも
イ からだ。

- | | | | | |
|---|---|-------|---|-----|
| 1 | ア | 少なくなる | イ | 多い |
| 2 | ア | 多くなる | イ | 少ない |
| 3 | ア | 少なくなる | イ | 少ない |
| 4 | ア | 多くなる | イ | 多い |

1 出題の趣旨

説明的な文章の内容を的確に押さえながら読むことができるかどうかをみる。

説明的な文章を読み、文と文との関係を押さえ、中心となる語句や文に着目しながら、文脈に合う適切な言葉を選択する問題である。ここでは、「農産物祭り」に出る店の数と集まる人の数との関係を押さえ、今年の祭りに集まる人の数を予想する場面を設定した。一文一文のもつ意味を理解しながら、中心となる語句や文に着目し、祭りに出る店の数が増えると集まる人の数も増えるという傾向を的確に押さえて読むことが求められる。

本問と過去の全国学力・学習状況調査（以下、全国調査という。）との関連をみると、平成十九・二十年度の「国語A」において、文章の内容をとらえる問題を取り上げている。（※参考）

説明的な文章を解釈するためには、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえることが重要である。このことは、国語科の学習のみならず、各教科等の学習や日常生活においても基盤となる能力である。

■学習指導要領における領域・内容

C 読むこと（第五・六年）

イ 目的や意図などに応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえること。

■評価の観点 読む能力

2 問題の正答等

(1) 正答について

■正答

選択肢 4 ア 多くなる イ 多い

■解説

○ 第一段落で、祭りに出る店の数が、昨年の四十に対して、今年は六十に増える予定であるという事実が書かれている。併せて、店の数が多い年にはたくさんの方が集まるという傾向が書かれている。これらのことから、今年の祭りに集まる人の数は、店の数に対応して多くなることをとらえる必要がある。

(2) 誤答について

■解説

○ 選択肢 1、2、3 は、「今年の祭りに出る店の数が昨年比べて多くなること」によって、今年集まる人の数が昨年に比べて多くなる」という関係が成立しないので誤答である。

3 学習指導に当たって

(1) 読む目的に応じて中心となる語や文をとらえる

本や文章を読む目的に応じて、中心となる語や文をとらえることが重要である。読む目的によって、本や文章の活用の仕方が変わり、取り上げる中心となる語や文も変化してくる。中心となる語や文を用いて要点をまとめたり、小見出しを付けたりして、内容を整理するなどの指導が大切である。

(2) 筆者の論の展開に沿って文章全体の構成をとらえる

説明的な文章を読む場合、筆者の論の展開に沿って文章全体の構成をとらえることが必要である。そのためには、筆者がどのような判断や主張をしようとし、どのような事実を挙げて理由や根拠としているのかなどを区別して押さえ、文章全体の構成をとらえることができるように指導することが大切である。

(※参考) 過去の全国学力・学習状況調査との関連

問題番号	問題の概要	正答率(%)
H 19 A 9	説明文の一部を読んで、内容に合うものを選択する	八一・二
H 20 A 9	文章中の表現について言い換えた部分を抜き出す	四〇・九
H 20 A 9	筆者が伝えたかったこととして適切な内容を選択する	四八・八

3

次は、「たったひとりの伝説」という物語のはじめで、「おじいちゃん」に届いた外国語の手紙を見せられた「ぼく」について書かれた場面の一部です。

ア

イ

ウ

の中に入る人物を、本文中の言葉を使ってそれぞれ書きましよう。

「読まなくても、見るだけでいい」

おじいちゃんに言われ、ぼくは三枚の紙をひとつお見見た。そして、

「やっぱり何が書いてあるか、わかんないよ」

と言って、すぐに紙をおじいちゃんに返した。

もしもそのとき、部屋に母さんがいたら、どんなでもないことになっていただろう。

ア はこれくらいのことでも、顔をまっ青にして

なければまっ赤になって、こんなふうに言って

「なんですか、その態度は。おじいさまに、『やはり、わかりません』と言いなおしなさい！」

でも、母さんはそこにはいなかった。

(斉藤洋「たったひとりの伝説」による。)

1 出題の趣旨

文学的な文章に登場する人物を相互に関係付けて読むことができるかどうかをみる。

物語の一部を読み、描写に着目しながら登場する人物の相互関係をとらえる問題である。

ここでは、「おじいちゃん」に届いた外国語の手紙を見せられた「ぼく」を中心に、想像の中で登場する「母さん」との関係をとらえる場面を設定した。中心となる人物が「ぼく」であることを押さえ、「ぼく」、「母さん」、「おじいちゃん」の三人の関係を前後の文脈から判断しながら読むことが求められる。

本問と過去の全国調査との関連をみると、平成十九年度の「国語A」において、表現や叙述に即して登場人物を把握する問題を取り上げている。(※参考)

物語の展開に即して、中心となる登場人物やその相互関係をとらえ、人物の心情を叙述と関係付けながら読むことが重要である。

■学習指導要領における領域・内容

C 読むこと(第五・六年学)

ウ 登場人物の心情や場面についての描写など、優れた叙述を味わいながら読むこと。

■評価の観点 読む能力

2 問題の正答等

(1) 正答について

■正答

- ア 母さん
- イ おじいちゃん
- ウ ぼく

■解説

○ 「ぼく」が「おじいちゃん」に返した言葉を「母さん」が聞いていたら、とんでもないことが起きるといふ叙述を基に、「おじいちゃん」に謝る「母さん」、「ぼく」を叱る「母さん」という関係をとらえ、本文中にある、人物を示す言葉を使つて書く必要がある。

○ イに「おじいさま」と書いているものは、「お母さん」が「おじいちゃん」を呼ぶ際の言葉である「おじいさま」を、「ぼく」の内言の文に置いているので適切ではないが、「おじいちゃん」と同じ意味で、本文中の言葉を使っているのが正答とする。

○ アに「かあさん」、「母」、イに「じいちゃん」、ウに「僕」などと書いているものも、前項と同様な解答ととらえ、正答とする。

(2) 誤答について

■解説

○ 本文中の言葉を使って解答していないものや、文脈に沿わない人物または言葉を解答しているものは誤答とする。

3 学習指導に当たって

(1) 登場人物の相互関係をとらえて読む

物語などを読むときには、中心となる人物を押さえるとともに、他の登場人物や語り手などとの関係をとらえることが必要である。そのためには、行動や会話、情景などについての叙述に着目し、それぞれの人物像や役割をとらえ、人物相互の関係を整理しながら読むことができるように指導することが大切である。

(2) 様々な文学的文章を読んで、考えを広げたり深めたりする

物語をはじめとする様々な文学的文章を読む機会を増やし、自分の考えを広げたり深めたりすることが重要である。そのためには、目的に応じて様々な文学的文章を授業の中で計画的に取り上げ、優れた叙述などについて自分の考えをまとめることができるように指導することが大切である。

4 出典等

斉藤洋『たったひとりの伝説』（理論社、一九九五年十二月）による。

(※参考) 過去の全国学力・学習状況調査との関連

問題番号	問題の概要	正答率(%)
H19 A10	物語の一部を読んで、登場人物の心情として適切なものを選択する	六三・三

4 文の論理を考えて書く

4 児童会の代表委員の石橋さんたちは、運動会について伝えたいことを、昨年の反省をもとに「メモ」に取ったあと、児童会だよりに書きました。「児童会だよりの一部」の②の中にいるふさわしい内容を、①の書き方と同じように書きましよう。

【メモ】

【児童会だよりの一部】

（運動会について伝えたいこと）
 ↳ 昨年の反省から↳

◆ 運動会の前に体調をくずした人がいた。
 ↳ 健康に気をつける。

◆ 開会式の集合時こくにおくれた人がいた。
 ↳ 早めに行動する。

児童会だより	第2号	四月二十七日発行
--------	-----	----------

もうすぐ運動会！

全校のみなさんが楽しみにしている運動会が近づいてきました。昨年の反省を生かして、次のことに注意しましょう。

① 運動会の前に体調をくずさないように、健康に気をつけること。

② ア

早めに行動すること。

1 出題の趣旨

文と文との意味のつながりを理解し、文の論理を考えて書くことができるかどうかをみる。

相手に伝えたいことを明確に表現するために、事象と意見との関係を区別しながら、文の論理を考えて書く問題である。

ここでは、「児童会だより」の一部に、運動会について伝えたい内容を、メモを基にして書く場面を設定した。文の論理を考えながら、指示された文の構成に合わせて、二文を一文にして書くことが求められる。

本問と過去の全国調査との関連をみると、平成十九・二十・二十一年度の「国語A」において、文の論理を理解し、目的や課題に応じて書き換える問題を取り上げている。（※参考）

目的や課題に応じて、文や文章を適切に書き換えるためには、文の中の語句の役割や語句相互の関係、照応の仕方などの文の論理を理解しながら書くことが重要である。

■学習指導要領における領域・内容

B 書くこと（第五・六年）

エ 事象と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

言語事項（第三・四年）

(1) オ 文及び文章の構成に関する事項

(ウ) 文と文との意味のつながりを考えながら、指示語や接続語を使うこと。

■評価の観点

国語への関心・意欲・態度
 書く能力
 言語についての知識・理解・技能

2 問題の正答等

(1) 正答について

■正答例

○ 開会式の集合時こくにおくれないように
〔その他の正答例は、解答類型1・2・3を参照のこと〕

■解説

○ 【メモ】の二つめの◆の「開会式の集合時こくにおくれない人がいた。」という事実を基にして、伝えたい意見として書く必要がある。問題の指示にある「①の書き方と同じように」とは、一つめの◆の「…くずした人がいた」を「…くずさないように」と書き換えたことと同じように書くことを求めている。そのことを踏まえて、「…おくれた人がいた」を「…おくれないように」と書き換える必要がある。

○ 「…の集合」を「…に集まる」、「時こく」を「時間」とするなど、【メモ】の言葉どおりではないが、「…おくれないように」の「ないように」を使って、「開会式の集合時こくにおくれないように」という意味を変えないで書いているものは正答とする。

○ 「…おくれないように」を「…おくれないよう」、「…おくれないために」、「…間に合うように」とするなど、「ないよう」を使っていないが、前項と同様に「開会式の集合時こくにおくれないように」という意味を変えないで書いているものも正答とする。

(2) 誤答について

■解説

○ 【メモ】の二つめの◆の事実に誤りがあるものは誤答とする。

3 学習指導に当たって

(1) 文の論理を考え、構成を整えて書く

伝えたい内容を的確に伝えるために、文の論理を考え、構成を整えて書くことが重要である。例えば、原因となる一文と結果を表す一文とを合わせて一文にまとめたり、その反対に複文や重文を接続語を使って二文に書き分けたりするように指導することが大切である。このようなことは、国語科の学習のみならず、各教科等の学習においても意図的に指導することが大切である。

(2) 条件に基づいて適切に書く

指示された字数や文の数、文末表現などの条件に基づいて、必要のある事柄を取捨選択して適切に書くことが重要である。そのためには、目的や意図を明確にした上で、多様な条件を提示し、それらに合わせて適切に書くことができるように指導することが大切である。

(※参考) 過去の全国学力・学習状況調査との関連

問題番号	問題の概要	正答率(%)
H 19 A 5	一文を二文に分けて書く	五七・九
H 20 A 3	文章を読み返して、書き直したほうがよい理由と方法を選択する	三四・〇
H 21 A 8	接続語を使って一文を二文に分けて書く	一五・〇

5 意見文の構成の効果を考えて書く

5 原田さんは、学校図書館の利用について意見文を書くことにしました。次のアからエまでのカードは、意見文に書く内容をまとめたものです。カードを、①「問題の提示」、②「体験をもとにした事実と意見」、③「調査をもとにした事実と意見」、④「まとめ」の順番になるように並べかえ、その順番に記号を書きましよう。

【意見文に書く内容をまとめたカード】

<p>ア 以前、借りた本に落書きがあって、読みたいところが読めなくなっていた。みんなのものなのでやめるべきだ。</p>	<p>ウ 学校図書館を利用するときには、ほかの人のことを考えて、一人一人がきまりを守り、気持ちよく利用できるようにすることが大切だ。</p>
<p>イ 最近、学校図書館を利用するときのきまりを守らない人が増えてきた。どのようにすればよいだろうか。</p>	<p>エ 本をおくれて返したことがある人は、全体の約四十パーセントもいることが分かった。次に借りる人のことを考えるべきだ。</p>

1 出題の趣旨

自分の考えが明確になるように、文章全体の構成の効果を考えて書くことができるかどうかをみる。

意見文に書く内容をまとめたカードを、指示された構成の順番に並べ替える問題である。

ここでは、学校図書館の利用について意見文を書くときの構成の場面を設定した。意見文の全体の構成を、①「問題の提示」、②「体験をもとにした事実と意見」、③「調査をもとにした事実と意見」、④「まとめ」の順番になるように、それぞれのカードの内容を的確にとらえることが求められる。

本問と過去の全国調査との関連をみると、平成二十年度の「国語B」において、意見文を比べて読み、文章の全体の構成をとらえる問題を取り上げている。（※参考）

自分の考えを明確にした意見文を書くためには、文章全体の構成の効果を考えて、相手が理解できるように工夫したり、事象と感想、意見などを区別したりしながら書くことが重要である。

■学習指導要領における領域・内容

B 書くこと（第五・六年）

ウ 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の組立ての効果を考えること。

■評価の観点

書く能力

2 問題の正答等

(1) 正答について

■正答

- ①イ ②ア ③エ ④ウ

■解説

○ ①「問題の提示」に相当するのは、学校図書館の最近の利用状況を踏まえて問題を整理して示しているイのカードである。

○ ②「体験をもとにした事実と意見」に相当するのは、以前落書きを見つけたという体験を基に禁止を促しているアのカードである。

○ ③「調査をもとにした事実と意見」に相当するのは、返却に関する調査を基に他者への配慮を促しているエのカードである。

○ ④「まとめ」に相当するのは、冒頭に提示した問題についての意見を総括しているウのカードである。

(2) 誤答について

■解説

○ カードの内容と提示された意見文の構成とをすべて正しく対応させていなければ誤答とする。

3 学習指導に当たって

(1) 自分の考えが明確になるように文章全体の構成を工夫すること

自分の考えが明確になるように文章全体の構成を工夫することが必要である。そのためには、冒頭部に体験に基づく身近な事実や見聞した事実などを配置し、それらに合わせて問題を提示する

ことが有効である。展開部においては、事象と感想、意見などを区別して論を展開していくことが重要である。その際、自分の思いや考えを裏付けるような数値を伴った事実を理由や根拠として示すことなどが効果的である。結びでは、冒頭に提示した問題に対する自分の考えを明確にすることが重要である。このような文章全体の構成の型を押さえて指導することが大切である。

(2) 意見文の構成を意識して取材する

自分の意見が読み手に伝わるためには、問題となる事実や意見、根拠、結論などの書く事柄を文章の構成や記述に役立つように収集し整理することが重要である。とりわけ、取材の段階から文章全体の構成を意識するようにし、適切な取材方法であるかなどを検討するように指導することが大切である。

(3) 読み手の立場に立つて構成の効果を評価する

自分の思いや考えが効果的に表現されているかどうかを、読み手の立場に立つて自己評価することが必要である。そのためには、文章を書き終えた後の推敲だけではなく、構成の段階においても、目的や意図を踏まえ、読み手への効果を考えるように指導することが大切である。

(※参考) 過去の全国学力・学習状況調査との関連

問題番号	問題の概要	正答率(%)
H20 B 4	二つの意見文を比べて読み、文章の組立てとして適切な内容を選択する	五九・七 三五・九

6 次は、竹内さんが、自動車工場で見学したことをもとに、分かったことや考えたことを説明した内容の一部です。竹内さんは、説明をどのようにくふうしていますか。最もふさわしいものを、下の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

【説明した内容の一部】

わたしは、自動車工場で見学したことの中から、自動車ができるまでの流れについて、分かったことや考えたことを説明します。最初に、自動車ができるまでの流れを、「プレス」、「ようせつ」、「どそう」、「組み立て」、「検査」という五つの段階に分け、分かったことを順番に話していきます。そのあと、自分が考えたことをまとめて述べます。まず、「プレス」という段階について話します。

く（説明が続く）く



- 1 聞き手に問いかけながら説明している。
- 2 見学に行った理由を最初に説明している。
- 3 話の全体構成を伝えてから説明している。
- 4 工場で見学したことを全部説明している。

1 出題の趣旨

聞き手が理解しやすいように、話の全体の構成を工夫することができるかどうかをみる。

見学したことを基に、分かったことや考えたことを説明するときの工夫として適切なものを選択する問題である。

ここでは、自動車工場で見学したことを基に、分かったことや考えたことを説明する場面を設定した。聞き手が理解しやすいように、話の全体の構成を示した後に部分の説明をするという、説明の工夫をとらえることが求められる。

本問と過去の全国調査との関連をみると、平成十九・二十年度の「国語A」において、スピーチについての知識や技能をとらえる問題をとり上げている。（※参考）

聞き手に分かりやすいスピーチをするためには、話の順序やまとまりなどの構成を工夫し、伝えたいことが明確になるようにすることが重要である。

■学習指導要領における領域・内容

A 話すこと・聞くこと（第五・六学年）

ア 考えた事や自分の意図が分かるように話の組立てを工夫しながら、目的や場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。

■評価の観点

話す・聞く能力

2 問題の正答等

(1) 正答について

■正答

選択肢 3 話の全体構成を伝えてから説明している。

■解説

○ 自動車工場を見学したことの中から、自動車ができるまでの流れを取り上げて、分かったことや考えたことを説明しようとしている。分かったことについては、五つの作業工程に分けて順番に話し、考えたことについては、その後にとまどめて述べることを、スピーチの冒頭で伝えていることを理解する必要がある。

(2) 誤答について

■解説

○ 選択肢 1、2、4 は、竹内さんの説明の工夫には当てはまらないので誤答である。

3 学習指導に当たって

(1) スピーチの種類や特徴を踏まえて構成を工夫する

スピーチには、事物や出来事について説明するものや調査の報告をするものなど、様々な種類がある。説明や報告、紹介など、それぞれの特徴を踏まえて構成を工夫することが重要である。そのためには、例えば、話の冒頭部で説明の概略や柱立てを述べるよさを理解させる活動を取り入れるなど、話の構成の工夫について具体的に指導することが大切である。

(2) 事象と感想、意見とを区別して話す

話の意図が聞き手に明確に伝わるように、事象と感想、意見とを区別して話すことが重要である。自分の感想や意見と、理由や根拠になる事実とを関係付けるとともに、理由や根拠の妥当性や客観性について検討するように指導することが大切である。

(3) 相手や場にに応じて、話す内容や話し方を工夫する

スピーチを聞く相手や場にに応じて、内容を工夫することが重要である。そのためには、相手がどの程度知識をもっているか、どんなことを聞きたいかなどに応じて、スピーチの内容を広げたり深めたりすることができるように指導することが大切である。また、相手との親近度、話す場所や広さなどに配慮して言葉遣いや声の大きさなどの話し方についても工夫するように指導することが大切である。

(※参考) 過去の全国学力・学習状況調査との関連

問題番号	問題の概要	正答率(%)
H19 A7	スピーチでの聞き手に分かりやすい話し方を選択する	五五・八
H20 A5	スピーチの内容に即して、カードを並べ替える	七八・三
H20 A6	下書きの文章と発表原稿とを比べ、工夫したところを書く	七四・二

7 多義語の意味を理解する

7 和田さんは、の中の——部「かたい」という言葉の意味について、国語辞典を使って調べました。この場合の意味として最もふさわしいものを、あとの【国語辞典で調べた内容】の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

クラスの団結が、かたい。

【国語辞典で調べた内容】

- 1 物に力を加えてもくずれにくくて、じょうぶである。
(例) ダイヤモンドは、かたい。
- 2 思いや考えがしっかりしていて、じょうたん簡単にはゆるがない。
(例) わたしの決心は、かたい。
- 3 考え方をその場によく合わせられない。がんこである。
(例) 頭が、かたい。
- 4 こわばっていて、動きになめらかさがない。ごこちない。
(例) 表情が、かたい。

1 出題の趣旨

文脈に適した多義語の意味を理解することができるかどうかをみる。

多義語の意味について、国語辞典を利用して調べた内容から適切なものを選択する問題である。

ここでは、国語辞典を使って「かたい」の文脈的な意味を調べる場面を設定した。国語辞典に示された「かたい」のそれぞれの意味と例文とを関係付けた上で、文脈に適した意味を適切にとらえることが求められる。

本問と過去の全国調査との関連をみると、平成二十年度の「国語A」において、似ている言葉を比べ、その意味の違いをまとめる問題を取り上げている。(※参考)

文や文章を的確に理解するためには、辞書を利用して言葉の意味を調べる習慣を付けることが重要である。また、語感や文脈に合った言葉の使い方などについての指導は、各学年を通じて積み重ねていくことが大切である。

■学習指導要領における領域・内容

- 言語事項(第五・六年)
- (1) ウ 語句に関する事項
 - (ウ) 表現したり理解したりするために必要な語句について、辞書を利用して調べる習慣を付けること。
 - (エ) 語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつこと。

■評価の観点
言語についての知識・理解・技能

2 問題の正答等

(1) 正答について

■正答

選択肢2 思いや考えがしつかりしていて、簡単にはゆるがない。
い。

■解説

○ 「クラスの団結」とは、クラスを構成する人々が、共通の目的のために一つにまとまろうとする際の結び付きのことである。ここでいう「かたい」は、その精神的な結び付きが強いことを表現している。

(2) 誤答について

■解説

○ 選択肢1 ↓ 物質的な意味での強度を表す「かたい」は、ここでは当てはまらないので誤答である。

○ 選択肢3 ↓ 思いや考えに柔軟性がない、融通が利かないということを表す「かたい」は、ここでは当てはまらないので誤答である。

○ 選択肢4 ↓ 緊張、不安などの理由から、動きがぎこちない、こわばっている様子を表す「かたい」は、ここでは当てはまらないので誤答である。

3 学習指導に当たって

(1) 文脈に応じて多義語を使う

多義語については、複数の意味があることを理解した上で、文脈に応じて使うことが重要である。そのためには、文や文章の中から多義語を取り上げ、文脈による意味の違いをとらえることができるように指導することが大切である。また、辞書を積極的に利用して多義語の意味を調べるように指導することが大切である。

(2) 語感や言葉の使い方に対する感覚を高める

語感や言葉の使い方に対する感覚を高める指導は、第五・六年において特に重点を置くことが重要である。そのためには、国語科の授業に様々な読書活動を取り入れ、多くの文章を繰り返し読んで読んだり、優れた表現を抜き出したりするなどし、多様な言葉のリズムをはじめ、表現の柔らかさ、美しさなどに対する感覚を豊かにすることができるよう指導することが大切である。

さらに、国語科の学習のみならず、各教科等の学習や日常生活においても言葉の正しさや的確さなどについて検討するように指導することが大切である。

(※参考) 過去の全国学力・学習状況調査との関連

問題番号	問題の概要	正答率(%)
H 20 A 4	似た意味の言葉の使い分けとして適切な説明を選択する	五三・四

8

共通語と方言の使われ方を理解する

8

水島さんは、共通語と方言の使われ方をカードにまとめました。共通語の使われ方と方言の使われ方を、次の1から4までの中からそれぞれ二つ選んで、その番号を書きましよう。

〔共通語と方言の使われ方をまとめたカード〕

4	3	2	1
同じ地方に生まれ育った人どうしで話すときによく使われている。	全国的に放送されるニュースや、新聞の言葉としてよく使われている。	式や会議、多くの人の前など、改まった場でよく使われている。	その土地の気候やくらしとかかわりを持ち、生活の中でよく使われている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	方言		共通語

※解答は、解答用紙に書きましよう。

1 出題の趣旨

共通語と方言との違いを押さえ、それぞれの使われ方を理解することができるかどうかをみる。

共通語と方言の使われ方として適切なものをそれぞれ選択する問題である。

ここでは、四枚のカードにまとめられた共通語と方言の使われ方を、それぞれの特徴に合わせて分類する場面を設定した。カードに書かれた内容を理解し、共通語と方言のどちらについて述べているのかを判断することが求められる。

共通語は、全国的に通用する言葉であり、改まった場や報道の言葉として使われるなどの特質がある。一方、方言は、地方の風土と密接に結び付いた言葉であり、同じ地方に生まれ育った人同士の生活の中で使われるなどの特質がある。共通語と方言の違いを理解し、相手や場面、状況を判断して、適切に用いることが重要である。

■学習指導要領における領域・内容

言語事項（第五・六年年）

- (1) カ 言葉遣いに関する事項
- (イ) 共通語と方言との違いを理解し、また、必要に応じて共通語で話すこと。

■評価の観点

言語についての知識・理解・技能

2 問題の正答等

(1) 正答について

■正答

共通語 2・3
方言 1・4

■解説

○ 共通語は、公の場をはじめ、不特定多数を対象に情報を伝えるニュースや新聞などに使われる。一方、方言は、一定の地域社会において使われる言語であり、地域によって異なる発展を遂げていることが多い。これらの違いを理解する必要がある。

(2) 誤答について

■解説

○ 四つのうち、一つでも異なるものは誤答とする。

3 学習指導に当たって

(1) 共通語と方言のそれぞれの特質を理解する

共通語と方言のそれぞれの特質を理解することが必要である。そのためには、様々な文脈の中で使われている共通語と方言を取り出して、比較、対照しながら整理するなどの活動を通して、それぞれの特質を理解できるように指導することが大切である。

なお、小学校学習指導要領国語（平成二十年告示）においては、共通語と方言の指導について、従前は「言語事項」に示していたが、話すこと・聞くことの実際の場面における重要性を考慮して、「A話すこと・聞くこと」の第五・六学年の指導事項として位置付けている。

(2) 共通語と方言の使い分けを判断して話す

共通語と方言については、相手や場に応じて使い分けを判断して話すことが重要である。とりわけ、改まった公の場などにおいては、共通語で話すことが必要である。そのためには、校内放送、全校集会などの日常の言語生活の場面において、共通語を用いて話すことができるように指導することが大切である。

9 複合語の構成を理解する

9

次の例のように、二つの言葉が組み合わせられて、一つの言葉になることがあります。あとの一・二の **ア**・**イ** の中に入るふさわしい言葉を、それぞれ書きましょう。

(例) 持つ + 上げる ↓ 持ち上げる

一 走る + 続ける ↓ **ア**

二 **イ** + 付ける ↓ 結び付ける

1 出題の趣旨

語句の構成や語形の変化を理解することができるかどうかをみる。

複合語の構成や語形の変化をとらえる問題である。

ここでは、複合語の中でも、動詞と動詞によるものを取り上げた。例を基にして語形を変化させ、二つの語を適切に組み合わせたり、一つの複合語を適切に分けたりすることが求められる。

語句の構成については、複合語のほかに、お米の「お」のような接頭語、お父さんの「さん」のような接尾語、略語、慣用語などがある。また、語句の変化については、出題したような語形の変化のほかに、例えば、「花+畑」で「ハナバタケ」というような音の変化、「物」と「物物しい」のような意味の変化などがある。これらの語句の構成や語形の変化などについての理解を深め、語句の拡充を図ることが重要である。

■学習指導要領における領域・内容

言語事項(第五・六年年)

(1) ウ 語句に関する事項

(イ) 語句の構成、変化などについての理解を深め、また、語句の由来などに関心をもつこと。

■評価の観点

言語についての知識・理解・技能

2 問題の正答等

(1) 正答について

■正答

- ア 走り続ける
- イ 結ぶ

■解説

○ アでは、「走る」を「走り」と変化させて、「続ける」と組み合わせるものを書いているものを正答とする。

○ イでは、「結び付ける」を二つに分ける際に、「結ぶ」という言い切りの形に変化させて書いているものを正答とする。

(2) 誤答について

■解説

○ 語形を適切に変化させずに組み合わせたり分けたりしているものは誤答とする。

3 学習指導に当たって

(1) 語句の構成や語形の変化についての理解を深める

複合語の中には、本問のような動詞の組み合わせのみならず、「雪山」といった名詞の組み合わせ、「細長い」といった形容詞の組み合わせなど様々なものがある。複数の言葉が組み合わせることにより、音や語形、意味が変化するものがあることを理解して語句を用いることが重要である。そのためには、語句の構成や変化について、意味とのかかわりに注意して整理するなどして理解を深めることができるように指導することが大切である。

(2) 言葉の意味のまとまりとしてとらえる

言葉が小さな意味の単位である語句によって構成され、それらの語句が意味のまとまりによって語句の集合体（語彙）になっていることの理解を深めることが重要である。

例えば、事物の名称を表す語句、心情を表す語句、動作を表す語句などは、相互に関係のある語句としての一つのまとまりを構成している。複合語の指導においては、一つの語や語句に様々な語や語句を組み合わせることで、一つのまとまりの中での意味の違いをとらえることが重要である。語と語、語句と語句との意味の関係を理解した上で、表現活動と関連付けながら、語や語句の使用が一層豊かなものになるように指導することが大切である。

調査問題の解説

B 主として「活用」に関する問題

1 新聞委員の宮本さんたちは、学校新聞をよりよくするために、四月に発行した学校新聞に対する六年生の意見をカードに書いてもらいました。そして、同じような意見が書かれてあるカードのまとまりを作りました。次のA・Bは、同じまとまりの中から取り出したカードです。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

〔同じまとまりの中から取り出したカード〕

A 学校新聞には、写真を入れたほうがよいと思います。四月号は文章ばかりで、読みたいという気持ちがありませんでした。

B 四月号の学校新聞は、書いてあるできごとの様子がくわしく分かりませんでした。だから、写真をのせればよいと思いました。

〔問い〕 宮本さんは、AとBの二つのカードの内容をノートに整理して、考えたことを書きました。ア・イの中に入るふさわしい内容を、それぞれ書きましよう。

〔宮本さんのノートの一部〕

〔二つのカードの内容〕

AとBのカードはどちらも、学校新聞をよりよくするには、
「ア」
という方法がよいと考えている。

Aのカードでは、
「読みたいという気持ちがありません」
という問題を記している。
Bのカードでは、
「イ」
という問題を記している。

〔考えたこと〕
◆ AとBが問題にしていることにはちがいがあがあるが、方法はとてもよいと思う。五月号の新聞作りに生かすために、新聞委員のみんなで話し合うことにする。

1 出題の趣旨

目的や意図に応じて、読み手が評価した内容を整理し、表現の効果などについて確かめたり工夫したりすることができるかどうかをみる。

学校新聞に対して読み手が評価した意見の共通点や相違点を整理し、自分の表現の効果を確かめる問題である。

ここでは、発行した学校新聞に対する意見を取り入れ、よりよいものに改善していこうとする場面を設定した。読み手が評価した二つの内容について、意見とその根拠や理由を整理した上で、学校新聞における表現の効果などについて確かめたり工夫したりする能力や態度が求められる。

書くことの一連の過程において、自分の表現のよさを確認したり、改善する部分を修正したりするためには、読み手の評価を生かすことが重要である。

■学習指導要領における領域・内容

B 書くこと（第五・六学年）

ア 目的や意図に応じて、自分の考えを効果的に書くこと。

イ 表現の効果などについて確かめたり工夫したりすること。

言語活動例（第三・四学年 B書くこと）

経験した事を記録文や学級新聞などに表すこと

■評価の観点

国語への関心・意欲・態度
書く能力

2 問題の正答等

ア

(1) 正答について

■正答例

- 写真を入れる
- 写真をのせる

■解説

○ Aのカードでは、冒頭で「写真を入れたほうがよい」と提案している。Bのカードでは、結びにおいて同様に「写真をのせればよい」と提案している。AとBのどちらも写真を掲載するという方法について提案しているという共通点をとらえる必要がある。さらに、ノートの「…という方法がよいと考えている。」につながるように、文末を整える必要がある。

- Aのカードの内容を抜き出して、「写真を入れたほうがよい」、「写真をのせればよい」と書くなど、「…という方法がよいと考えている。」とのつながりが不十分であっても、写真を掲載するという方法に触れていれば正答とする。

(2) 誤答について

■解説

- 写真を掲載するという方法について書いていないものは誤答とする。

イ

(1) 正答について

■正答例

- できごとの様子がくわしく分からない
〔その他の正答例は、解答類型1を参照のこと〕

■解説

○ Bのカードでは、冒頭で「四月号の学校新聞は、書いてあるできごとの様子がくわしく分かりませんでした。」という問題となる事実を指摘している。Bのカードではそのことが提案の根拠や理由となっていることをとらえる必要がある。さらに、Aのカードにおける提案の根拠や理由である「…気持ちがあまり起こらない」と対応するように、文末を整える必要がある。

- Bのカードの内容を抜き出して、「できごとの様子がくわしく分かりませんでした」と書くなど、Aのカードとの対応が不十分であっても、Bのカードで指摘している問題点に触れていれば正答とする。

(2) 誤答について

■解説

- 出来事の様子が詳しく分からないという問題点について書いていないものは誤答とする。

3 学習指導に当たって

(1) 書いたものを読み手に評価してもらおう

書くことの一連の過程において、自分の考えが効果的に表現されているかどうかを、読み手に評価してもらおうことが重要である。このことにより、書き手は表現のよさを確認することができるとともに、改善できる部分についてよりよいものにしていくことができる。

なお、小学校学習指導要領国語（平成二十年告示）では、「B書くこと」の内容として、「交流に関する指導事項」を設定している。その中で、書いたものを読み合い、感想や意見を述べたり、表現の仕方に着目して助言し合ったりすることを示している。

(2) 書く文章の種類や特徴を踏まえて推敲・評価する

書く文章の種類や特徴を踏まえて推敲・評価することが必要である。そのためには、例えば学校新聞であれば、読み手に応じた取材や割付け、記述の確さ、見出しの付け方や写真・図表の活用の方などに関する推敲・評価の観点を、指導のねらいに基づいて重点的に取り上げ、指導していくことが大切である。

(3) 自分の考えが明確になるように思考を整理する

自分の考えが明確になるように、書く活動を関連付けて思考を整理することが重要である。そのためには、事象と感想、意見あるいは、理由と根拠などを区別して、それらの関係をカードや表に分類したり、ノートに構造的にまとめたりすることができるように具体的に指導することが大切である。このことは、国語科の学習のみならず、各教科等の学習においても指導することが大切である。

読書発表会をするへつりずきの宇宙人

森内さんの学級では、次の「つりずきの宇宙人」という物語を読んで、思ったことや考えたことを発表し合うことになりました。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

「そいつはいい。」
こうして、二人の宇宙人は、宇宙船にのって、はるか遠くの宇宙に、さかなのいる星をさがしに出かけた。

「このころ、あんまり大ものがかからない」と宇宙人の一人は、腕をたいていった。「おかげで、腕がなってしまうが……」
「この近所のつり場は、もうだめだ。」もう一人の宇宙人がいった。
「どうだ。ひどく、うんと遠くまで出かけていって、大きなえものいそうな星をさがそうじゃないか。」

「わかんないけど、ケバリをつかってみよう。」二人は、船の中から、長い長いつり糸を、大きなさかなたちのおよいでいるあたりまでたらしめた。
「なかなか、食いつかないな。」
「アッ、エサをのみこんだぞ！」と一人がさげんだ。
「よし、ひっぱれ！」
「だめだ。針はひっかかっているけど、すごく重くて、なかなか上がらない。」
二人は、まっかになって、ウーンウーンながら、つり糸をひっぱった。
だが、さかなの力はすごく強く、いくらひっぱっても、上がってこなかった。どうどうしまいに、つり糸がアツツリ切れ、二人は、宇宙船の中でドスンと、こぼれた。「ふう、おどろいた。すいかのさかなだな。」
「一人があせふきながらいった。
「大ものにはちがいないが、ここのさかなは、ちよつと大きすぎる。」
ともう一人が、ふうふう息をつきながら

(右下に続く)

(左上に続く)

「それに力もすごく強い。――タをするど、こつちがひきすずりこまれるかもしれんぞ。」
「ほんとは、この星のつりは、ちよつとあぶないな。」
「みんなにも、知らせてやろう。――つりなら、もつとほかの星をさがそう。」
こうして、二人の宇宙人は、その星からはなれていった。
その日の夕方――
コイノボリをサオからおろしていた、ケンちゃんは大さなマゴイのコイノボリの口にもような形の針がひっかかっているのを見つけた。
「あれエフ」ケンちゃんは、その針を手にとって、おもわず空を見上げた。「だれか、コイノボリをつらうとしたやつがいるのかな？」
――タやけの空の下に、まだあちからでも、こちらでも、コイノボリがいきおいよく、およいでいた。

(小松圭京「つりずきの宇宙人」による)

※1「腕がなる」……自分の力を見せたくて、はりきっている様子。
※2「ケバリ」……エサの虫などのすがたをまねてつくられた、つくりもののエサのついた針。

一 森内さんは、自分の思いや考えをまとめるために登場人物の行動や全体の構成をとらえ、発表しました。次の問いに答えましょう。

- (1) 森内さんは、物語を「はじめ」「中」「終わり」に分けて、あらすじを表にまとめました。本文中の……の部分で、四十文字以上、六十文字以内にまとめて、アの中に書きましょう。

「あらすじをまとめた表」

はじめ	つりがすきな宇宙人たちがいて、あちこちの星でさかなをみんなつりあげたために、近所では大きなさかなのいる星がすくなくなりました。
中	二人の宇宙人は、大きなさかながたくさんいそうな星を見つけ、そこでつりをしたが、さかなの力が強くて、つり糸が切れてしまった。
終わり	ア

※左の原簿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。

60字	40字
-----	-----

(2) 次は、森内さんが発表した内容の一部です。
 A B
 として正しいものを、あとの1から4までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書き
 ましょう。

【発表した内容の一部】

わたしは、終わりの「その日の夕方」の場面がおもしろかったです。
 読んでいくうちに、さかながコイノボリだったことが分かるのに、
 まま帰っていったからです。
 ～（発表が続く）～

A は、
 B は、知らない

- 1 読者
- 2 ケンちゃん
- 3 作者
- 4 宇宙人

二 この物語を読んで、あなたが思ったことや考えたことを、次の条件に合わせて書きましょう。

【条件】

- 思ったことや考えたことをはっきりと書くこと。
- 思ったことや考えたことの原因が分かるように書くこと。
- 六十字以上、八十字以内にまとめて書くこと。

※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。

80字 60字

1 出題の趣旨

目的や意図に応じて、文章の内容や構成の効果をとらえ、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

物語を読み、登場人物の行動や場面についての描写をとらえて内容を要約したり、物語全体の構成の効果をとらえたりして、自分の考えをまとめる問題である。

ここでは、「つりずきの宇宙人」という物語を読んで思ったことや考えたことを、読書発表会で発表し合う場面を設定した。登場人物の行動や場面の移り変わりに注意しながらあらすじをまとめたり、非日常から日常へと読者を誘う物語全体の構成の効果をとらえたりした上で、自分が思ったことや考えたことを理由を明確にしてまとめて書くことが求められる。

読む目的に応じて本や文章を選び、内容や構成の効果をとらえることで自分の考えを明確にすることが重要である。また、考えたことを交流し、一人一人の感じ方について違いがあることに気付くとともに、読書を通して考え方を広げたり深めたりすることが大切である。

2 各設問の趣旨及び正答等

設問一(1)

(1) 趣旨

登場人物の行動や場面の移り変わりに注意しながら、あらすじを書くことができるかどうかをみる。

自分の考えをまとめるために、登場人物の行動や場面の移り変わりに注意しながら、あらすじを書く問題である。

本設問は、本文を「はじめ」・「中」・「終わり」に分けて、あらすじを表にまとめる場面を設定した。指示された部分の内容について、登場人物の行動などの必要な要素を押さえ、与えられた字数に即して要約することが求められる。

物語の展開を適切にとらえるためには、中心となる登場人物の行動や心情の変化、描かれている情景の変化などを、叙述に基づいて読むことが重要である。

■学習指導要領における領域・内容

C 読むこと(第五・六学年)

ウ 登場人物の心情や場面についての描写など、優れた叙述を

味わいながら読むこと。

言語事項(第五・六学年)

(1) オ 文及び文章の構成に関する事項

(ア) 文や文章にはいろいろな構成があることについて理解すること。

解すること。

言語活動例(第五・六学年 C読むこと)

読書発表会を行うこと

■評価の観点

国語への関心・意欲・態度
読む能力

言語についての知識・理解・技能

(2) 正答について

■正答例

○ 大ものをつろうとはりきっている二人の宇宙人は、近所でのつりをあきらめ、さかなのいる星をさがしにはるか遠くまで出かけた。(六十文字)

〔その他の正答例は、解答類型1・2を参照のこと〕

■解説

○ 指示された範囲の叙述内容を要約して「(宇宙人が)さかな(のいる星)をさがしに出かけた」ことに触れて、四十文字以上、六十文字以内で書いているものを正答とする。

○ ここでの要約の骨格としては、物語の展開が分かるように登場人物の言動を中心に取り上げ、「だれが」、「何のため」、「どうした」などの要素に触れることが求められる。

「だれが」に関しては、「宇宙人が」ということを書いていなくてもよいものとする。本設問は、【あらすじをまとめた表】の一部であるアに入る内容を書くという設定であり、アの前後に示されたあらすじの文脈から判断すると、「だれが」は不可欠な要素とはならない。「はじめ」のあらすじに「つりがすきな宇宙人たちがいて」、「中」の二つめのあらすじに「二人の宇宙人は」といった記述があり、アの内容に「宇宙人が」という主語を補って読むことができるからである。

「何のため」、「どうした」に関しては、『さかな（＝えもの）』をさがしに出かけた」という表現の仕方でも、『さかなのいる星（＝つり場）』をさがしに出かけた」という表現の仕方でもよい。

○ 「こうして」に続く三行を抜き出して書いているものは、骨格としての要素は満たしているので正答とする。

〔具体例は、解答類型2を参照のこと〕

ただし、本設問では指示された部分の文脈全体をとらえて要約することを求めているため、その場面における最終的な行為や行動だけでなく、それに至った背景や経緯などについても言及することが適切である。

したがって、本設問については、単に抜き出して書くだけでなく、「こうして」という言葉の前の文脈についても触れて書いたほうが望ましい。

○ 「宇宙人がコイノボリをつろうとしたこと」、「ケンちゃんに関すること」など、指示された範囲外のあらずじを書いているものは誤答とする。

ただし、「宇宙人がつりずきであること」、「近所では大きなさかなのいる星がすくなくなつたこと」など、「はじめ」の部分に該当するような事柄については、内容の重複ととらえ、範囲外のあらずじであると判断しない。

(3) 誤答について

■解説

○ 「(宇宙人が) さかな(のいる星) をさがしに出かけた」ことに触れていなかったり、字数の過不足があったりするなど、条件を満たさないで解答しているものは誤答とする。

設問一(2)

(1) 趣旨

物語全体の構成の効果をとらえることができるかどうかをみる。

自分の考えをまとめるために、表現の仕方や優れた叙述に着目しながら、物語全体の構成の効果をとらえる問題である。

本設問は、終わりの「その日の夕方」の場面を読むことで、物語全体の構成の面白さに気付き、発表する場面を設定した。物語の中に登場する人物や作者、読者の視点をとらえて読むことが求められる。

物語の中には、登場人物の心情を直接的に描写せずに、登場人物相互の関係に基づいた行動や情景などを通して、暗示的に表現しているものがある。物語全体の構成の効果を適切にとらえるためには、このような表現の仕方に注意したり、優れた叙述に着目したりして読むことが重要である。

■学習指導要領における領域・内容

C 読むこと(第五・六学年)

ウ 登場人物の心情や場面についての描写など、優れた叙述を味

わいながら読むこと。

言語活動例(第五・六学年 C 読むこと)

読書発表会を行うこと

■評価の観点

読む能力

設問二

(1) 趣旨

物語を読んで思ったことや考えたことを、理由を明確にしてまとめて書くことができるかどうかをみる。

物語を読んで、登場人物の行動や場面についての描写など、優れた叙述について自分が思ったことや考えたことを、理由を明確にしてまとめて書く問題である。

本設問は、読書を通じて思ったり考えたりしたことの中から伝えたことを選び、その内容をまとめて書く場面を設定した。物語の内容や表現に着目して自分の考えを明確にし、与えられた字数に即して書くことが求められる。

読書を通じて自らの考えを広げたり深めたりするためには、物語などの文学的文章のみならず、説明的な文章などの多様な本や文章を読み、考えをまとめて発表し合うことが重要である。

■学習指導要領における領域・内容

C 読むこと(第五・六学年)

ウ 登場人物の心情や場面についての描写など、優れた叙述を味

わいながら読むこと。

言語活動例(第五・六学年 C 読むこと)

読書発表会を行うこと

■評価の観点

国語への関心・意欲・態度

読む能力

(2) 正答について

■正答

A 選択肢1 読者

B 選択肢4 宇宙人

■解説

○ この物語は、前半は、宇宙人が魚釣りをするためにある星へ行き、そこで大きな魚を釣ろうとするが失敗する、という状況が描写されている。後半で、実は宇宙人が釣ろうとしたのは魚ではなくコイノボリであったということが明かされるという構成になっている。「その日の夕方」以降の終わりの場面の描写や、「ケンちゃん」の言動を手がかりにすることで、読者にはそのことが分かるが、登場人物である宇宙人は気付かないままであったという対比の構造をとらえる必要がある。

(3) 誤答について

■解説

○ 二つのうち、一つでも異なるものは誤答とする。

(2) 正答について

■正答例

○ なんとかしてコイノボリをつり上げようとする二人の宇宙人の様子を想像し、思わず笑いたくなりました。なぜなら、コイノボリを大きなさかなだと思いきんでいたからです。(八十文字)

〔その他の正答例は、解答類型1を参照のこと〕

■解説

○ 思ったことや考えたことと、その理由を明確にして、六十文字以上、八十文字以内で書いているものを正答とする。

○ この物語の内容面の特徴として、非日常の世界の宇宙人が日常の世界に出かけ、コイノボリを大きな魚だと思い込んで釣ろうとするが失敗に終わること、日常の世界のケンちゃんコイノボリを釣ろうとする存在を不可解に思うことなどの展開の面白さなどが挙げられる。

一方、構成や表現面の特徴として、設問(2)の【発表した内容の一部】に示したことに加え、会話描写による展開の軽快さ、擬音語や擬態語を用いた描写の工夫、余韻を残す結びなどが挙げられる。

物語の内容面、構成や表現面に関する様々な特徴をとらえ、自分が思ったことや考えたことを、理由とともに明確にまとめて書く必要がある。

(3) 誤答について

■解説

○ 思ったことや考えたことを明確に書いていなかったり、理由を明確に書いていなかったり、字数に過不足があったりするなど、条件を満たさないで解答しているものは誤答とする。

3 学習指導に当たって

(1) 物語全体の構成や展開及び優れた叙述に着目して読む

物語全体の構成や展開をpushして読むことと、それぞれの場面における優れた叙述に着目して読むことの両方を大切にして読むことが重要である。そのためには、物語全体の構成や展開に着目して作品を読むことと、特定の叙述に着目して読むことを螺旋的・反復的に繰り返していくなど、読みの重層化を図るとともに、柔軟な指導過程の構想をすることが大切である。

(2) 感じたり考えたりしたことをまとめながら読む

物語の内容を理解するにとどまらず、優れた叙述をとらえ、自分が感じたり考えたりしたことをまとめながら読むことが必要である。そのためには、物語の構成や展開、場面の設定、語り手や登場人物、情景の描写など、読みの視点をもち、今までの読書経験や体験などに関連付け、感じたことや考えたことなどをまとめながら読むことができるように指導することが大切である。

(3) 本や文章を読んで考えたことを発表し合う

目的に応じて、様々な本や文章を読み、考えたことを発表し合うことが重要である。そのためには、物語を読んで思ったことや考えたことを発表し合うといった読書発表会などの言語活動を設定して指導することが大切である。その際、あらずじについては、物語全体の構成や展開の面白さをとらえるといった目的や必要性を明確にして指導することが大切である。

4 出典等

小松左京『宇宙人のしゅくだい』（講談社、一九八一年八月）による。

写真を使って発表する「家の屋根の形」

3 丸山さんは、自然とくらしについて調べ、「写真①」と「写真②」を使って発表しました。
 「発表原稿」を読んで、あとの問いに答えましょう。

【写真①】 角度が急な屋根の家	【写真②】 角度が緩やかな屋根の家
--------------------	----------------------

発表原稿	話す内容
【ア】 ビルやマンションの屋根は、平らになっているものが多くあります。また、屋根全体が三角の形になっている家もあります。みなさんは、どんな形の屋根を見たことがありますか。	この屋根の角度は、急になっています。雪の多い地方では、このような屋根の家が見られます。なぜ、このように角度が急になっているのだと思いますか。
【イ】 数名に答えてもらう 屋根には、いろいろな形があります。わたしは、各地の屋根の写真をたくさん集めて、日本地図に置いてみました。 すると、屋根には、その地方の自然に合わせた特色があることが分かりました。調べたことの中から二種類の屋根について話します。	これは、できるだけ、雪が屋根に積もらないようにするためです。雪は、たくさん積もると家をおしつぶすぐらいの重さになります。ですから、雪に備えるくふうの一つとして、屋根の角度を急にしています。さらに、積もった雪を熱でとかして流すなど、いろいろなくふうがあります。
【ウ】 しばらく時間をおく	これは、角度がゆるやかな屋根です。どうしてこんなにゆるやかなのだと思いますか。
【エ】 聞き手の反応を見る	このような屋根が見られる地方は、台風の進路にあたることで、多く、強い風から家を守る必要があります。屋根の角度が急であること、風をまともに受けてしまいます。だから、屋根の角度をゆるやかにして、台風のみがいをできるだけ受けたくないようになっているのです。かわらは、飛ばないように固めています。
【オ】	このように、家の屋根には、雪や台風などによるひがいに備えて、いろいろなくふうして作られているものがあります。

一 丸山さんは、発表をするときに、二枚の写真それぞれで場面を示せばよいか考えました。
 「発表原稿」の中で「写真①を示す」「写真②を示す」が入るところを、アからオまでの中からそれぞれ一か所選んで、その記号を書きましょう。

二 丸山さんの発表を聞いた福島さんは、——部「なぜ、このように角度が急になっているのだと思いますか」について、「聞き手に問いかけたところがよかった」と言いました。なぜ、問いかけるとよいのかを説明しましょう。

三 丸山さんの学級では、聞き手からの質問には、次の1から4までのような種類があるということを学習しました。そこで、大野さんは、あとの□のように質問しました。
 大野さんは、1から4までのうち、どの種類の質問をしていますか。最もふさわしいものを選び、その番号を書きましょう。

【質問の種類】

- 1 話し手が調べたことの中で最も伝えなかった内容を引き出そうとする質問。
- 2 話し手が発表したことに対する自分の理解が正しいかを確かめようとする質問。
- 3 話し手が材料を集めたり整理したりしたときのくふうを聞き出そうとする質問。
- 4 話し手が調べたことと、自分が調べたこととを関係付けようとする質問。

【大野さんの質問】

写真を使っていたので、説明がよく分かりました。たくさん写真は、どのようにして集めたのですか。また、なぜ、その二枚を選んだのですか。

1 出題の趣旨

目的や意図に応じて、資料を活用しながら話し方を工夫したり、話の中心や話し手の意図をとらえて質問したりすることができるかどうかをみる。

課題に基づいて調べたことを、写真を提示し、聞き手へ問いかけながら話したり、聞いたことについて質問したりする問題である。ここでは、自然とくらしについて調べ、発表原稿を書いて発表したり、その発表を聞いて質問したりする場面を設定した。話し手は、伝えたいことと資料とを関係付け、資料を効果的に提示しながら話し方を工夫することが求められる。一方、聞き手は、話の中心や話し手の意図をとらえながら聞き、観点を明確にして質問することが求められる。

話し手は、考えたことや伝えたいことを明確にするために、資料を効果的に活用しながら説明することが重要である。また、聞き手は、話の中心や話し手の意図をとらえながら聞き、分からない点や確かめたい点などの観点を明確にして質問することが重要である。このことは、国語科の学習のみならず、各教科等の学習や日常生活においても必要な能力である。

2 各設問の趣旨及び正答等

設問一

(1) 趣旨

伝えたいことと資料とを関係付け、資料を効果的に提示して話すことができるかどうかをみる。

発表において、写真を提示する適切な箇所を選択する問題である。本設問は、発表原稿を読んで、いつ写真を提示すれば効果的であるかを考える場面を設定した。考えたことや伝えたいことと収集した資料とを関係付けながら、写真を提示する適切な場面を選択することが求められる。

本設問と過去の全国調査との関連をみると、平成二十一年度の「国語B」において、図を使って伝えたいことを整理したり説明したりする問題を取り上げている。(※参考)

自分の意図や考え、思いなどを伝えるためには、聞き手の理解が深まるような資料を選択したり作成したりするとともに、それらを効果的に提示して話すことが重要である。

■学習指導要領における領域・内容

A 話すこと・聞くこと(第五・六学年)

ア 考えた事や自分の意図が分かるように話の組立てを工夫しながら、目的や場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。

言語活動例(第五・六学年) A話すこと・聞くこと)

自分の考えを資料を提示しながらスピーチをすること

■評価の観点

話す・聞く能力

(2) 正答について

■正答

- 写真①を示す ウ
- 写真②を示す エ

■解説

○ 写真①は、角度が急になっている屋根の家の写真であり、写真②は、角度が緩やかになっている屋根の家の写真である。二つの写真が表している内容を的確にとらえた上で、発表原稿の内容と関係付ける必要がある。

写真①を示す箇所については、ウの直後の「この屋根の角度は、急になっています。」、写真②を示す箇所については、エの直後の「これは、角度がゆるやかな屋根です。」といった、それぞれの写真の内容を端的に表している記述に着目する必要があるのである。

(3) 誤答について

■解説

- ア ↓ 屋根にはいろいろな形のものがあるという話の導入の部分の途中であるため、いずれかの写真を示す箇所として適切ではないので誤答である。
- イ ↓ たくさんの写真を日本地図に置いてみたところ、その地方の自然に合わせた特色があることが分かったという発見について述べている部分の途中であるため、いずれかの写真を示す箇所として適切ではないので誤答である。
- オ ↓ 発表全体のまとめの直前であるため、いずれかの写真を示す箇所として適切ではないので誤答である。

設問二

(1) 趣旨

目的や意図に応じて、聞き手を引き付けるように話すことができるかどうかをみる。

発表において、話し手が聞き手に問いかけることによさについて説明する問題である。

本設問は、話し手の発表の仕方について、聞き手が評価する場面を設定した。話し手が聞き手に問いかけた効果をとらえて説明することが求められる。

話し手が聞き手に分かりやすく話すためには、全体の構成や言葉遣いを工夫することが重要である。一方、聞き手は、話し手に注目し、話の中心に気を付けて聞くことなどが大切である。

■学習指導要領における領域・内容

A 話すこと・聞くこと(第五・六学年)

- ア 考えた事や自分の意図が分かるように話の組立てを工夫しながら、目的や場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。
- イ 話し手の意図を考えながら話の内容を聞くこと。

■評価の観点

国語への関心・意欲・態度
話す・聞く能力

(2) 正答について

■正答例

(例1) 聞き手が興味や関心をもって聞いてくれるから。

(例2) 聞き手が自分のこととして考えようとするから。

(例3) 話し手が話そうとしていることを聞き手にはっきり伝えることができるから。

(例4) 話し手が一方的に話すだけの流れを変えることができるから。

(例5) 話し手が聞き手の反応をもとに、興味や関心、知識の程度を予想することができるから。

■解説

○ 話し手が聞き手に問いかけることによる効果や、聞き手が話し手に問いかげられることによる効果について説明する必要がある。

○ 例1は、聞き手が話の内容に対する興味や関心を高めることができるという効果について書いている。

○ 例2は、聞き手が主体的に話の内容について予想したり考えたりすることができるという効果について書いている。

○ 例3は、話し手が取り上げる内容を聞き手に明確に示すことができるという効果について書いている。

○ 例4は、話し手が話の流れを双方向的なものに調整することができるといって書いている。

○ 例5は、話し手が聞き手の興味や関心、知識の程度、話の受け止め方を察することができるという効果について書いている。

(3) 誤答について

■解説

○ 「問いかけるとよいから。」のように、問いかげによる効果についての説明が不十分なものや、「聞き手が答えを知っているので、教えてもらいたくないから。」のように、問いかげることの意味を理解していないもの、「雪が屋根に積もらないから。」のように、問いかげに答えているものなどは誤答とする。

設問三

(1) 趣旨

話の中心や話し手の意図をとらえながら聞き、適切に質問することができかどうかをみる。

話し手への質問がどのような観点によるものであるかを考え、適切なものを選択する問題である。

本設問は、聞き手からの質問の観点を学習した後、それらに合わせて質問する場面を設定した。学習した質問の観点と提示された質問とを照応し、適切なものを選択することが求められる。

話の中心や話し手の意図を的確にとらえ、自分の考えに生かすためには、様々な観点から考えながら聞き、適切に質問することが重要である。

■学習指導要領における領域・内容

A 話すこと・聞くこと(第五・六学年)

イ 話し手の意図を考えながら話の内容を聞くこと。

■評価の観点

話す・聞く能力

(2) 正答について

■正答

選択肢 3 話し手が材料を集めたり整理したりしたときのくふうを聞き出そうとする質問。

■解説

○【大野さんの質問】では、丸山さんの発表について、資料を活用したことをよさとして評価した上で、写真の取材方法と選択の理由や根拠について質問していることをとらえる必要がある。

(3) 誤答について

■解説

○ 選択肢 1、2、4 は、大野さんの質問に当てはまらないので誤答である。

3 学習指導に当たって

(1) 自分の考えが明確に伝わるように資料を活用する

目的や意図に応じて、資料を収集し、それらの中から適切なものを活用して、自分の考えを明確に聞き手に伝えることが重要である。そのためには、本や文章、実物や映像、リーフレットやパンフレット、図表などの中から、相手や目的、意図、場や状況に応じた適切な資料及びそれらの情報を取り上げ、効果的な場面や方法で活用できるように、話の全体の構成と資料や情報との整合性などを考慮するように指導することが大切である。

(2) 聞き手を引き付けるように話す

話し手は、聞き手を引き付け、興味・関心をもってもらうように話すとともに、考えたことなどを適切に伝えることが必要である。そのためには、聞き手に伝わっているかどうかを確認したり、注目を促したりするなどの話し方の工夫を具体的に指導することが大切である。

(3) 様々な質問の観点を理解し、実際の場面で活用する

話の中心や、話し手の目的や意図に興味・関心をもって聞き、聞いた事柄について質問することが重要である。本問の設問三では、質問の観点として、

- 話し手の意図を考え、伝えたい事柄をより深めるための質問
 - 自分の理解度を確認するための質問
 - 取材や構成時の工夫についての質問
 - 自分の意見と比べるための質問
- の四つを挙げている。このような質問の観点などを理解し、実際に話し合う場面などにおいて、聞き手が適切に質問することができるように具体的に指導することが大切である。

(※参考) 過去の全国学力・学習状況調査との関連

設問一	問題番号	問題の概要	正答率(%)
H 21 B 4 二	H 21 B 4 一	作戦カードを基に、ボールを渡す順番を整理する 作戦カードを基に、チームの攻め方を説明する	八六・二 五七・五 六二・二

4 情報を関係付けて読む〈目覚まし時計〉

4 中島さんは、目覚まし時計を買うために、インターネットを使って情報を集めました。そして、どんな目覚まし時計を選ぶかということについて、家族に相談して決めました。【資料】と「決めたこと」を読んで、あとの問いに答えましょう。

【資料】
インターネットを使って集めた目覚まし時計の情報

A 価格：3150円




- 設定した時刻になると、「おはよう」という声を出す。
- 時刻を示す針が、暗いところで光る。

B 価格：5250円



- 5種類の音楽の中から目覚まし音を選べる。
- 時刻を示す数字の横に、「午前」、「午後」という表示がある。

C 価格：4200円



- 好きな音楽を目覚まし音にすることができる。
- ボタンをおすと、時刻の表示が日付の表示に切りかわる。

【決めたこと】

- ◇ 5000円より安いもの。
- ◇ 音楽で目覚めることができるもの。

(問い) 中島さんは、どの目覚まし時計を選ばよいでしようか。A・B・Cの中から一つ選んで、その記号を書き出しの文の□の中に書きましょう。そして、その目覚まし時計を選ぶ理由を、【資料】の情報と「決めたこと」の内容のとらにもよりますが、書き出しの文に続けて、六十文字以上、八十文字以内にまとめて書きましょう。

※左の罫用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。

選ぶ目覚まし時計は、□です。理由は、

80字 60字

1 出題の趣旨

目的や意図に応じて、必要な情報を関係付けて読み、理由を明確にして説明することができるかどうかをみる。

複数の資料を比べて読み、資料の情報と決定した条件とを関係付けながら、理由を明確にして説明する問題である。

ここでは、実生活において身近な目覚まし時計の情報をインターネットで収集し、複数の条件に照らし合わせて選ぶ場面を設定した。複数の情報を比べて読み、条件を満たしているものを選択した上で、その理由を明確にして説明することが求められる。

本問と過去の全国調査との関連をみると、平成十九年度の「国語B」において、広告に記載された情報を正しく読み取り、その内容を適切に説明する問題を取り上げている。(※参考)

自分の課題を解決するためには、目的や意図に応じて資料を収集し、情報を比べて読みながら、必要な情報を選択することが重要である。このことは、国語科の学習のみならず、各教科等の学習や日常生活においても必要な能力である。

■学習指導要領における領域・内容

C 読むこと(第五・六年)

エ 書かれている内容について事象と感想、意見の関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかくこと。

オ 必要な情報を得るために、効果的な読み方を工夫すること。

■評価の観点

国語への関心・意欲・態度
読む能力

2 問題の正答等

(1) 正答について

■正答例

- (選ぶ目覚まし時計は) C (です。理由は) 価格が四二〇〇円で五〇〇〇円より安く、好きな音楽を目覚まし音にして目覚めることができ、決めたことを両方満たすからです。(七十九字)

〔その他の正答例は、解答類型1・2を参照のこと〕

■解説

- 【資料】の情報と【決めたこと】の内容とを関係付けた上でCの目覚まし時計を選び、選んだ理由を価格と目覚まし音の二つの面に触れながら、六十字以上、八十字以内にまとめて書く必要がある。正答の条件は、次の四つとする。
- ① 選ぶ目覚まし時計を「C」と書いている。
- ② 目覚まし時計の価格について触れている。
- * Cの目覚まし時計の価格について、【資料】にある「四二〇〇円」と、【決めたこと】にある「五〇〇〇円より安い」という具体的な数値をいずれも書いている。
- ③ 目覚まし時計の目覚まし音について触れている。
- * Cの目覚まし時計の目覚まし音について、【資料】と【決めたこと】にある「音楽」という具体的な言葉を書いている。
- ④ 書き出しの言葉を含めて、六十字以上、八十字以内で書いている。
- 正答例は、次のように論を展開している。
- 条件②に示す価格の面からは、【資料】の情報を讀むと、

Cの目覚まし時計の価格は四二〇〇円であるので、Cの目覚まし時計は、【決めたこと】の『五〇〇〇円より安いもの』という内容に合う」ということを書いている。

条件③に示す目覚まし音の面からは、【資料】の情報を讀むと、Cの目覚まし時計の目覚まし音は音楽であるので、Cの目覚まし時計は、【決めたこと】の『音楽で目覚めることができるもの』という内容に合う」ということを書いている。

これらのことより、Cは【決めたこと】の二つのいずれも満たすということを書いている。

- 条件①、③、④のいずれも満たしているものうち、条件②について、Cの目覚まし時計の価格が四二〇〇円であるという【資料】の情報のみ、あるいは、五〇〇〇円より安いものを選ぶという【決めたこと】の内容のみを書いていただけであっても、価格について触れていると判断し、条件②を満たしているものとして正答とする。

〔具体例は、解答類型2の例1・例2を参照のこと〕
また、Cの目覚まし時計の価格が【決めたこと】の内容に合う」ということのみ書いているものも同様に正答とする。

〔具体例は、解答類型2の例3を参照のこと〕

- 条件①、②、④のいずれも満たしているものうち、条件③について、Cの目覚まし時計の目覚まし音が【決めたこと】の内容に合う」ということのみ書いているだけでも、目覚まし音について触れていると判断し、条件③を満たしているものとして正答とする。

〔具体例は、解答類型2の例4を参照のこと〕

○ 条件①、④のいずれも満たしているものうち、条件②、③について、Cの目覚まし時計の価格も目覚まし音も【決めたこと】の内容に合うというのみ書いているだけであっても、価格と目覚まし音について触れているものと判断し、条件②、③のいずれも満たしているものとして正答とする。
〔具体例は、解答類型2の例5を参照のこと〕

○ 本問は、A・B・Cの三つの目覚まし時計の中から一つを選ぶという問題であるため、Aの目覚まし時計もBの目覚まし時計も【決めたこと】の内容に合わないということだけを書いていると、AとBを消去することでCの目覚まし時計を導き出していると判断できる。

したがって、消去する場合においても、価格について触れていれば条件②を、目覚まし音について触れていれば条件③を満たしているものとする。
〔具体例は、解答類型2の例6・例7を参照のこと〕

(2) 誤答について

■解説

○ 選ぶ目覚まし時計を「C」と書いていないものは誤答とする。また、価格と目覚まし音のいずれにも、あるいはいずれにもしか触れていないものは誤答とする。

3 学習指導に当たって

(1) 複数の情報を比べて読む

複数の情報を比べて読むなど効果的な読み方を工夫することが重要である。特に、複数の情報を分類・整理しながら、比べて読むことは、情報に含まれる共通点や相違点について検討することになる。また、情報の内容についての比較のみならず、文や文章の構成や表現面について評価することができる。このような読み

の能力を高めるために、教材として複数の文章や資料を取り上げ、具体的な言語活動を設定して指導することが重要である。

なお、小学校学習指導要領国語（平成二十年告示）では、「C読むこと」の内容として、「効果的な読み方に関する指導事項」を設定している。その中で、「効果的な読み方」として、比べ読みのほか、速読、本や文章全体を概観しながら拾い読みをする摘読、同じ課題で多くの本を重ねたり並行させたりして読む多読を示している。

(2) 目的に応じて本や文章を選んで読む

楽しむためや調べるためなど、読む目的や意図に応じて本や文章を選び、的確に内容を押さえて読むことが必要である。そのためには、読む目的を明確にした上で、様々な分野の本や文章を適切に選びながら、読書の範囲を広げるように指導することが大切である。

特に、高学年になると、調べるために資料を集めたり、同じ作者や課題について数多くの作品を読んだりするなど読む目的も多様化する。また、調べる範囲も学校図書館から地域の公共図書館や資料館などへと広がる。さらには、本を中心とした資料から新聞や雑誌、インターネットなど様々なメディアへと、その活用や情報収集の範囲も広がっていく。目的に応じて、様々な資料や情報の中から適切なものを取り上げるように指導することが大切である。

(※参考) 過去の全国学力・学習状況調査との関連

問題番号	問題の概要	正答率(%)
H19 B4 一	広告の情報を読み取って、正しい内容を選択する	六三・〇

Ⅲ 調查問題等

小学校第6学年

国語 A

注意

- 1 先生の合図があるまで、中を開かないでください。
- 2 調査問題には、国語と算数の問題があります。国語の問題は1ページから10ページまであります。算数の問題は反対側の表紙から始まり、1ページから13ページまであります。
- 3 解答用紙には、国語の解答らんの面と算数の解答らんの面があります。解答は、すべて解答用紙に書きましょう。
- 4 解答は、HBまたはBの黒鉛筆（シャープペンシルも可）を使い、こく、はつきりと書きましょう。また、消すときは消しゴムできれいに消しましょう。
- 5 解答時間は、次のとおりです。
 - ・国語 A 20分間
 - ・算数 A 20分間※それぞれの時間になったら、合図があります。※国語の問題を解き終わっても、算数の問題に進んではいけません。
- 6 ※解答が早く終わったら、よく見直しましょう。机の上の「個人番号票【解答用紙記入用】」をよく見て、解答用紙に、学校名、組、出席番号、男女、個人番号をまちがいのないように書きましょう。

問題は、次のページから始まります。

— 次の(1)から(3)までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいいねいに書きましょう。

- (1) 新しいクラスに 慣れる。
- (2) 本の 目次 を見る。
- (3) いつも 清潔 なハンカチを持つ。

二 次の(1)から(3)までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましよう。

(1) ひさ| しぶりに おじさんに会う。

(2) ぎじゆつ| が進歩する。

(3) 星の位置が へんか| する。

2

次は、坂本さんの町で五月の連休に行われる「農産物祭り」について書かれた文章の一部です。
の中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

ア

イ

今年も五月の連休に、県内各地の野菜や果物^{くだもの}などを販売^{はんばい}したり、それらを使った料理を紹介^{しょうかい}したりする「農産物祭り」が行われる。祭りの会場には、いろいろな店が出る。昨年は、四十の店が出た。今年は、六十の店が出る予定である。祭りに集まる人の数は、店の数に関係があるということが分かっている。店の数が多い年にはたくさんの方が集まり、少ない年にはあまり集まらない。

こうしたことから、今年の祭りに集まる人の数は、昨年集まった人の数よりも
ア ということが予想される。なぜなら、今年、店を出す予定の数は、昨年、店を出した数よりも
イ からだ。

1

ア 少なくなる

イ 多い

2

ア 多くなる

イ 少ない

3

ア 少なくなる

イ 少ない

4

ア 多くなる

イ 多い

次は、『たったひとりの伝説』という物語のはじめで、「おじいちゃん」に届いた外国語の手紙を見せられた「ぼく」について書かれた場面の一部です。

ウ

の中に入る人物を、本文中の言葉を使ってそれぞれ書きましよう。

ア

・

イ

・

「読まなくても、見るだけでいい」

おじいちゃんに言われ、ぼくは三枚の紙をひととおりました。そして、

「やっぱり何を書いてあるか、わかんないよ」

と言って、すぐに紙をおじいちゃんに返した。

もしもそのとき、部屋に母さんがいたら、とんでもないことになっていただろう。

ア

はこれくらいのことでも、顔をまっ青にして

イ

にあやまるか、さも

なければまっ赤になって、こんなふうに言って

ウ

をしかる。

「なんですか、その態度は。おじいさまに、『やはり、わかりません』と言いなおし

なさい！」

でも、母さんはそこにはいなかった。

(斉藤洋『たったひとりの伝説』による。)

4

児童会の代表委員の石橋さんたちは、運動会について伝えたいことを、**【メモ】**に取ったあと、児童会だよりに書きました。**【児童会だよりの一部】**の②の**ア**の中に入るふさわしい内容を、①の書き方と同じように書きましょう。

【メモ】

【児童会だよりの一部】

〈運動会について伝えたいこと〉
　　↳ 昨年の反省から

◆ 運動会の前に体調をくずした人がいた。

←
健康に気をつける。

◆ 開会式の集合時こくにおくれた人がいた。

←
早めに行動する。

児童会だより

第2号

四月二十七日発行

もうすぐ運動会！

全校のみなさんが楽しみにしている運動会が近づいてきました。昨年の反省を生かして、次のことに注意しましょう。

① 運動会の前に体調をくずさないように、健康に気をつけること。

② **ア**
早めに行動すること。

5

原田さんは、学校図書館の利用について意見文を書くことにしました。次のアからエまでのカードは、意見文に書く内容をまとめたものです。カードを、①「問題の提示」、②「体験をもとにした事実と意見」、③「調査をもとにした事実と意見」、④「まとめ」の順番になるように並べかえ、その順番に記号を書きましよう。

【意見文に書く内容をまとめたカード】

ア

以前、借りた本に落書きがあって、読みたいところが読めなくなっていた。みんなのものなのでやめるべきだ。

イ

最近、学校図書館を利用するときのきまりを守らない人が増えてきた。どのようにすればよいだろうか。

ウ

学校図書館を利用するときには、ほかの人のことを考えて、一人一人がきまりを守り、気持ちよく利用できるようにすることが大切だ。

エ

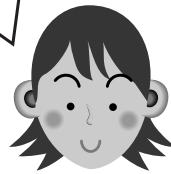
本をおくれて返したことがある人は、全体の約四十パーセントもいることが分かった。次に借りる人のことを考えるべきだ。

次は、竹内さんが、自動車工場で見学したことをもとに、分かったことや考えたことを説明した内容の一部です。竹内さんは、説明をどのようにくふうしていますか。最もふさわしいものを、下の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

【説明した内容の一部】

わたしは、自動車工場で見学したことの中から、自動車ができるまでの流れについて、分かったことや考えたことを説明します。最初に、自動車ができるまでの流れを、「プレス」、「ようせつ」、「とそう」、「組み立て」、「検査」という五つのだん階に分け、分かったことを順番に話していきます。そのあと、自分が考えたことをまとめて述べます。まず、「プレス」というだん階について話します。

～（説明が続く）～



- 1 聞き手に問いかけながら説明している。
- 2 見学に行った理由を最初に説明している。
- 3 話の全体構成を伝えてから説明している。
- 4 工場で見学したことを全部説明している。

7

和田さんは、

の中の

部

「かたい」という言葉の意味について、国語辞典を

使って調べました。この場合の意味として最もふさわしいものを、あとの【国語辞典で調べた内容】の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

クラスの団結が、かたい。

【国語辞典で調べた内容】

1 物に力を加えてもくずれにくくて、じょうぶである。

(例) ダイヤモンドは、かたい。

2 思いや考えがしっかりしていて、簡単かんたんにはゆるがない。

(例) わたしの決心は、かたい。

3 考え方をその場にうまく合わせられない。がんこである。

(例) 頭が、かたい。

4 こわばっていて、動きになめらかさがない。ぎこちない。

(例) 表情が、かたい。

8

水島さんは、共通語と方言の使われ方をカードにまとめました。共通語の使われ方と方言の使われ方を、次の1から4までのの中からそれぞれ二つ選んで、その番号を書きましよう。

【共通語と方言の使われ方をまとめたカード】

1	その土地の気候やくらしとかかわりを持ち、生活の中でよく使われている。
2	式や会議、多くの人の前など、改まった場でよく使われている。
3	全国的に放送されるニュースや、新聞の言葉としてよく使われている。
4	同じ地方に生まれ育った人どうしで話すときによく使われている。

共通語

方言

※解答は、解答用紙に書きましよう。

9

次の例のように、二つの言葉が組み合わさって、一つの間言葉になることがあります。あとの
一・二の
ア
・
イ
の中に入るふさわしい言葉を、それぞれ書きましょう。

(例)

持つ

+

上げる

↓

持ち上げる

一

走る

+

続ける

↓

ア

二

イ

+

付ける

↓

結び付ける

これで、国語Aの問題は終わりです。

注意

合図があるまで、次のページを開かないでください。

小学校第6学年

国語 B

注意

- 1 先生の合図があるまで、中を開かないでください。
- 2 調査問題は、1ページから14ページまであります。
- 3 解答用紙は、両面に解答らんがあります。解答は、すべて解答用紙に書きましょう。
- 4 解答は、HBまたはBの黒鉛筆（シャープペンシルも可）を使い、こく、はつきりと書きましょう。また、消すときは消しゴムできれいに消しましょう。
- 5 解答時間は、40分間です。解答が早く終わったら、よく見直しましょう。
- 6 机つくえの上の「個人番号票【解答用紙記入用】」をよく見て、解答用紙に、学校名、組、出席番号、男女、個人番号をまちがいのないよう書きましょう。

1

新聞委員の宮本さんたちは、学校新聞をよりよくするために、四月に発行した学校新聞に対する六年生の意見をカードに書いてもらいました。そして、同じような意見が書かれているカードのまとめりを作りました。次のA・Bは、同じまとめりの中から取り出したカードです。これらを読んで、あとの問いに答えましょう。

【同じまとめりの中から取り出したカード】

A

学校新聞には、写真を入れたほうがよいと思います。四月号は文章ばかりで、読みたいという気持ちがありませんでした。

B

四月号の学校新聞は、書いてあるできごとの様子がくわしく分かりませんでした。だから、写真をのせればよいと思いました。

(問い) 宮本さんは、AとBの二つのカードの内容をノートに整理して、考えたことを書き
ました。
ア ・ イ
の中に入るふさわしい内容を、それぞれ書きましょう。

【宮本さんのノートの一部】

〔二つのカードの内容〕

AとBのカードはどちらも、
学校新聞をよりよくするには、
「ア」
という方法がよいと考えている。

Aのカードでは、
「読みたいという気持ちがあまり起こらない」
ということを問題にしている。

Bのカードでは、
「イ」
ということを問題にしている。

〔考えたこと〕

◆ AとBが問題にしていることにはちがいがあがるが、方法はとてもよいと思う。五月号の
新聞作りに生かすために、新聞委員のみんなで話し合うことにする。

森内さんの学級では、次の「つりずきの宇宙人^{うちゅうじん}」という物語を読んで、思ったことや考えたことを発表し合うことになりました。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

かぞえきれないほどある、宇宙の星の中には、宇宙人のすんでいる星もたくさんあった。その中には、いろんな、かわった宇宙人もすんでいた。

その星の宇宙人たちは、とてもつりがすきだった。宇宙船にのって、あちこちの、生物^{せいぶつ}のいる星に出かけていき、その星にすんでいるさかなを、みんなつりあげてしまう。そのため、その宇宙人たちのすんでいる星の近所では、大きなさかなのいる星が、すくなくなってしまった。

「このごろ、あんまり大^{おお}ものがかからない。」と宇宙人の一人は、腕^{うで}をたたいていった。「おかげで、腕^{※1}がなつてしようがない。」
「この近所のつり場は、もうだめだ。」もう一人の宇宙人がいった。
「どうだ。ひとつ、うんと遠くまで出かけていって、大きなえもののいそうな星をさがそうじゃないか。」

(右下に続く▶)

「そいつはいい。」
こうして、二人の宇宙人は、宇宙船にのって、はるか遠くの宇宙に、さかなのいる星をさがしに出かけた。

キラキラ光る、あたたかい星のまわりをまわっている、小さな星の一つに、二人は、よさそうな場所を見つけた。

「ここなら、だいぶいそうだぞ。」宇宙船のまどから、そのきれいな星を見おろしながら宇宙人はいった。

「ひとつ、メガネをのぞいてみる。」
メガネをのぞいた、もう一人の宇宙人は、うれしそうにさげんだ。

「いるいる！——すごく大きなさかながたくさん、およいでいるぞ。」

「よし、それじゃ、ここにきめよう。」

そういって、二人の宇宙人は、つりざおをとりだした。

「エサは、なにがいいかな？」

(左上に続く▶)

「わからん、ひとつ、ケバリ^{※2}をつかってみよう。」
二人は、船の中から、長い長いつり糸を、
大きなさかなたちのおよいでいるあたり
までたらしした。

「なかなか、食いつかないな。」

「アッ、エサをのみこんだぞ！」

と一人がさげんだ。

「よし、ひっぱれ！」

「だめだ。針^{はり}はひっかかっているけど、
すごく重くて、なかなか上がらない。」

二人は、まっかになつて、ウンウンい
ながら、つり糸をひっぱった。

だが、さかなの力はすごく強く、いくら
ひっぱっても、上がってこなかった。――
とうとうしまい、つり糸がプツツリ切れ、

二人は、宇宙船の中でドスンと、ころがった。

「ふう、おどろいた。すごい力のさかなだな。」

一人があせをふきながらいった。

「大ものにはちがいないが、ここのさかな
は、ちょっと大きすぎる。」

ともう一人が、ふうふう息をつきながら

(右下に続く)

いった。

「それに力もすごく強い。――ヘタをすると、
こっちがひきずりこまれるかもしれんぞ。」

「ほんとは、この星のつりは、ちょっと
あぶないな。」

「みんなにも、知らせてやろう。――つり
なら、もっとほかの星をさがそう。」

こうして、二人の宇宙人は、その星から、
はなれていった。

その日の夕方――。

コイノボリをサオからおろしていた、ケン
ちゃん、大きなマゴイのコイノボリの口に、
みょうな形の針がひっかかっているのを
見つけた。

「あれエ？」ケンちゃんは、その針を手に
とって、おもわず空を見上げた。「だれか、
コイノボリをつろうとしたやつがいるの
かな？」

――夕やけの空の下に、まだあちらでも、
こちらでも、コイノボリがいきおいよく、
およいでいた。

(小松左京「つりずきの宇宙人」による。)

※1 「腕になる」……自分の力を見せたくて、はりきっている様子。

※2 「ケバリ」……エサの虫などのすがたをまねてつくられた、つくりもののエサのついた針^{はり}。

— 森内さんは、自分の思いや考えをまとめるために登場人物の行動や全体の構成をとらえ、発表しました。次の問いに答えましょう。

(1) 森内さんは、物語を「はじめ」・「中」・「終わり」に分けて、あらすじを表にまとめました。本文中の の部分を、**四十字以上、六十字以内**にまとめて、ア の中に書きましょう。

【あらすじをまとめた表】

はじめ	中	終わり
<p>つりがすきな宇宙人たちがいて、あちこちの星でさかなをみんなつりあげたために、近所では大きなさかなのいる星がすくなくなりました。</p>	<p style="text-align: center;">ア</p> <p>二人の宇宙人は、大きなさかながたくさんいた星を見つけ、そこでつりをして、さかなの力が強くて、つり糸が切れてしまった。</p>	<p style="text-align: center;">(省略)</p>
<p style="text-align: center;">(省略)</p>	<p style="text-align: center;">(省略)</p>	<p style="text-align: center;">(省略)</p>

(2) 次は、森内さんが発表した内容の一部です。
として正しいものを、あとの1から4までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書き
ましよう。

【発表した内容の一部】

わたしは、終わりの「その日の夕方」の場面がおもしろかったです。
読んでいくうちに、さかながコイノボリだったことが分かるのに、
まま帰っていったからです。
（発表が続く）

A

B

B

A

は、知らない

1 読者

2 ケンちゃん

3 作者

4 宇宙人

3

丸山さんは、自然とくらしについて調べ、【写真①】と【写真②】を使って発表しました。
【発表原稿】^{げんこう}を読んで、あとの問いに答えましょう。

【写真①】

角度が急な屋根の家

【写真②】

角度が緩やかな屋根の家

【発表原稿】

発表の仕方	話す内容
ア	ビルやマンションの屋根は、平らになっているものが多くあります。また、屋根全体が三角形の形になっている家もあります。みなさんは、どんな形の屋根を見たことがありますか。
イ	屋根には、いろいろな形があります。わたしは、各地の屋根の写真をたくさん集めて、日本地図に置いてみました。すると、屋根には、その地方の自然に合わせた特色があることが

オ	エ	ウ
<p>このように、家の屋根には、雪や台風などによるひがいに備えて、いろいろとくふうして作られているものがあります。</p>	<p>聞き手の反応を見る</p> <p>これは、角度がゆるやかな屋根です。どうしてこんなにゆるやかなのだと思いますか。</p> <p>このような屋根が見られる地方は、台風の進路にあたることで、多く、強い風から家を守る必要があります。屋根の角度が急であると、風をまともに受けてしまいます。だから、屋根の角度をゆるやかにして、台風のひがいをできるだけ受けないようにしているのです。かわらは、飛ばないように固めています。</p>	<p>しばらく時間をおく</p> <p>この屋根の角度は、急になっています。雪の多い地方では、このような屋根の家が見られます。なぜ、このように角度が急になっているのだと思いますか。</p> <p>それは、できるだけ、雪が屋根に積もらないようにするためです。雪は、たくさん積もると家をおしつぶすぐらいの重さになります。ですから、雪に備えるくふうの一つとして、屋根の角度を急にしています。さらに、積もった雪を熱でとかして流すなど、いろいろなくふうがあります。</p>

一 丸山さんは、発表をするときに、二枚まいの写真をそれぞれの場面で示せばよいか考えました。
【発表原稿】の中で「写真①を示す」・「写真②を示す」が入るところを、アからオまでの中から
それぞれ一か所選んで、その記号を書きましよう。

二 丸山さんの発表を聞いた福島さんは、——部「なぜ、このように角度が急になって
いるのだと思いますか」について、「聞き手に問いかけたところがよかった」と言いました。
なぜ、問いかけるとよいのかを説明しましよう。

三 丸山さんの学級では、聞き手からの質問には、次の1から4までのような種類があると
いうことを学習しました。そこで、大野さんは、あとの のように質問しました。
大野さんは、1から4までのうち、どの種類の質問をしていますか。最もふさわしいものを
一つ選んで、その番号を書きましよう。

【質問の種類】

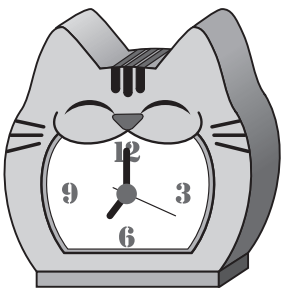
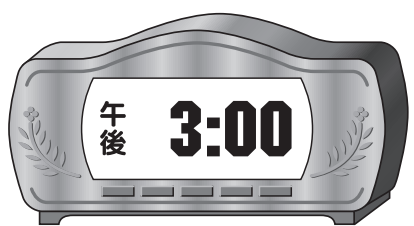

- 1 話し手が調べたことの中で最も伝えなかった内容を引き出そうとする質問。
- 2 話し手が発表したことに対する自分の理解が正しいかを確かめようとする質問。
- 3 話し手が材料を集めたり整理したりしたときのくふうを聞き出そうとする質問。
- 4 話し手が調べたことと、自分が調べたこととを関係付けようとする質問。

【大野さんの質問】

写真を使っていたので、説明がよく分かりました。たくさん写真は、どのようにして集めたのですか。また、なぜ、その二枚を選んだのですか。

【資料】

インターネットを使って集めた目覚まし時計の情報

<p>A</p> 	<p>価格：3150円</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 設定した時刻<small>じこく</small>になると、「おはよう」という声を出す。 ■ 時刻を示す針<small>はり</small>が、暗いところで光る。
<p>B</p> 	<p>価格：5250円</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 5種類の音楽の中から目覚まし音を選べる。 ■ 時刻を示す数字の横に、「午前」、「午後」という表示がある。
<p>C</p> 	<p>価格：4200円</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 好きな音楽を目覚まし音にすることができる。 ■ ボタンをおすと、時刻の表示が日付の表示に切りかわる。

【決めたこと】

- ◇ 5000円より安いもの。
- ◇ 音楽で目覚めることができるもの。

中島さんは、目覚まし時計を買うために、インターネットを使って情報を集めました。そして、どんな目覚まし時計を選ぶかということについて、家族に相談して決めました。【資料】と【決めたこと】を読んで、あとの問いに答えましょう。

(問い) 中島さんは、どの目覚まし時計を選べばよいでしょうか。A・B・Cの中から一つ選んで、その記号を書き出しの文の の中に書きましよう。そして、その目覚まし時計を選ぶ理由を、【資料】の情報と【決めたこと】の内容のどちらにもふれながら、書き出しの文に続けて、六十字以上、八十字以内にまとめて書きましよう。

※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましよう。

選	ぶ	目	覚	ま	し	時	計	は	、	<input type="checkbox"/>	で	す	。	理	由	は	、

80字 60字

平成22年度 全国学力・学習状況調査

平成22年4月 文部科学省

解答用紙

小学校第6学年
国語A 解答用紙

7011

↑ 《ここから右には解答を書いてはいけません。》 ↓

1

一	(1)	(れる)
	(2)	
	(3)	
二	(1)	(じゅうりに)
	(2)	
	(3)	

6

7

8 共通語

方言

9

ア	
イ	

2

3

ア	
イ	
ウ	

4

ア	

5

①	⇒	②	⇒	③	⇒	④
---	---	---	---	---	---	---

《このあたりは詳細を知らなくてもかまいません。》

《ここから下には解答を書いてはいけません。》

学校名

組

出席番号

男女

個人番号

国A
算A

※個人番号票を見ながら、1ますに1けたずつ、数字を書き写してください。

小学校第6学年
国語B 解答用紙

《ここから右には解答を書いてはいけません。》

1	ア
イ	

2	一	(1)	※とちゆうて行を変えないで、続けて書きましよう。 (Grid for writing answer 1)	40字
	(2)	A		60字
		B		60字
	二		※とちゆうて行を変えないで、続けて書きましよう。 (Grid for writing answer 2)	80字

3と4の解答らんは、裏面にあります。

《ここから右には解答を離してはらちません。》

《ここから下には解答を書いてはいけません。》

学校名	組	出席番号	男女	個人番号

※個人番号票を見ながら、1ますに1けたずつ、数字を書き写してください。

正 答 (例)

※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、解説本文や解答類型に記載している
ので、採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも参照されたい。

小学校第6学年
国語 A 解答用紙

7011

「ここから右には解答を書いてはいけません。」

1

一	(1)	な	(れる)
	(2)	もくじ	
	(3)	せいけつ	
二	(1)	久	(じぶりに)
	(2)	技術	
	(3)	変化	

↓ 解答類型 P.7 参照

2

4

↓ 解答類型 P.8 参照

3

ア	母さん
イ	おじいちゃん
ウ	ぼく

↓ 解答類型 P.8 参照

4

ア 開会式の集合時こくにおくれないように

↓ 解答類型 P.8 参照

5

① イ → ② ア → ③ エ → ④ ウ

↓ 解答類型 P.9 参照

6

3

↓ 解答類型 P.9 参照

7

2

↓ 解答類型 P.9 参照

8 共通語

2

3

方言

1

4

↓ 解答類型 P.9 参照

9

ア	走り続ける
イ	結ぶ

↓ 解答類型 P.10 参照

「ここから左には解答を書いてはいけません。」

「ここから下には解答を書いてはいけません。」

学校名

組

出席番号

男女

個人番号

国A
算A

※個人番号票を見ながら、1ますに1けたずつ、数字を書き写してください。

※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、解説本文や解答類型に記載している
ので、採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも参照されたい。

小学校第6学年
国語B 解答用紙

1061

（ここから右には解答を書いてはいけません。）

1	ア 写真を入れる
	イ できごとの様子がくわしく分からない

↓ 解答類型 P.13 参照

2	一	(1)		※とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。														
		大ものをつろうとはりきっている二人の宇																
		宙人は、近所でのつりをあきらめ、さかなの																
		いる星をさがしにはるか遠くまで出かけた。																
		(2)																
		A	1															
		B	4															
二				※とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。														
		なんとかしてコイノボリをつり上げようと																
		する二人の宇宙人の様子を想像し、思わず笑																
		いたくなりました。なぜなら、コイノボリを																
		大きなさかなだと思いこんでいたからです。																

↓ 解答類型 P.14 P.15 参照

3と4の解答らんは、裏面にあります。

（このあたりには解答を転写してはいけません。）				
（ここから下には解答を書いてはいけません。）				
学校名	組	出席番号	男女	個人番号

※個人番号票を見ながら、1ますに1けたずつ、数字を書き写してください。

※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、解説本文や解答類型に記載している
 ので、採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも参照されたい。

国語B

1062

← 《ここから右には解答を書きはいけません。》 →

3

一	写真①を示す	ウ
	写真②を示す	エ
二	聞き手が興味や関心をもって聞いてくれるから。	
三	3	

↓ 解答類型 P.16
 P.17 参照

4

※書き出しの言葉は字数にふくみます。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

選	ぶ	目	覚	ま	し	時	計	は	、	C	で	す	。	理	由	は	、	価	
格	が	四	二	〇	〇	円	で	五	〇	〇	〇	円	よ	り	安	く	、	好	き
な	音	楽	を	目	覚	ま	し	音	に	し	て	目	覚	め	る	こ	と	が	で
き	て	、	決	め	た	こ	と	を	両	方	満	た	ず	か	ら	で	す	。	

↓ 解答類型 P.18
 P.19 P.20 参照

点字問題（抜粋）

— 次の(1)から(3)までの文の「・・・」で示した言葉と同じ意味のものを、あとのア、イの中から選びましょう。

(1) 新しいクラスに「慣れる」。

ア 君ならヒーローに「なれる」。

イ からの食べ物に「なれる」。

(2) 本の目次を「見る」。

ア 時計のはりを「みる」。

イ 下級生の面倒を「みる」。

(3) いつも清潔なハンカチを「持つ」。

ア この食品は長く「もつ」。

イ 外出時はけい帯電話を「もつ」。

二 次の(1)から(3)までの文の「・・・」で示した部分と同じ意味の漢字を用いるものを、あとのアからエまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を書きましよう。

(1) 久しぶりに「ゆう」じんに会う。

ア 「ゆう」しょうする。

イ 「ゆう」じょうを大切にする。

ウ 「ゆう」えんちに出かける。

エ 「ゆう」きがわいてくる。

(2) 技術が「しん」ぼする。

ア 「しん」じつはひとつだ。

イ 「しん」ぱいする。

ウ 「しん」がくしたいと思う。

エ 「しん」きろくが出た。

- (3) 星の位置がへん「か」する。
- ア 「か」のうせいがある。
- イ 「か」がいしやを責める。
- ウ さっきよく「か」になりたい。
- エ び「か」うんどうをする。

2

次は、坂本さんの町で五月の連休に行われる「農産物祭り」について書かれた文章の一部です。

ア

・

イ

の中に入る言葉として正しいものを、

ア

はあとの1、2から

イ

はあとの3、4から一つずつ選んで、その番号を書きましよう。

今年も五月の連休に、県内各地の野菜や果物などを販売したり、それらを使った料理を紹介したりする「農産物祭り」が行われる。祭りの会場には、いろいろな店が出る。昨年は、四十の店が出た。今年も、六十の店が出る予定である。祭りに集まる人の数は、店の数に比例があるということが分かっている。店の数が多い年にはたくさんの方が集まり、少ない年にはあまり集まらない。

こうしたことから、今年の祭りに集まる人の数は、昨年集まった人の数よりも

ア ということが予想される。なぜなら、今年、店を出す予定の数は、昨年、店を出した数よりも

イ からだ。

ア

1 少なくなる

2 多くなる

イ

3 少ない

4 多い

ここから先のページは、
裏表紙の方からお読みください。

ここから先のページは,
表紙の方からお読みください。

【参考文献】

- ・文部科学省「小学校学習指導要領（平成10年12月告示，平成15年12月一部改正）」平成16年1月20日（改訂版）
- ・文部科学省「小学校学習指導要領（平成20年3月告示）」
- ・文部省「小学校学習指導要領解説国語編」 平成11年5月31日
- ・文部科学省「小学校学習指導要領解説国語編」 平成20年8月
- ・全国的な学力調査の実施方法等に関する専門家検討会議「全国的な学力調査の具体的な実施方法等について（報告）」 平成18年4月25日
- ・文部科学省「読解力向上に関する指導資料 ～PISA調査（読解力）の結果分析と改善の方向～」 平成17年12月
- ・国立教育政策研究所教育課程研究センター「評価規準の作成，評価方法の工夫改善のための参考資料（小学校）—評価規準，評価方法等の研究開発（報告）—」平成14年2月
- ・文部科学省 国立教育政策研究所「平成19年度 全国学力・学習状況調査【小学校】報告書」 平成20年1月
- ・文部科学省 国立教育政策研究所「平成20年度 全国学力・学習状況調査【小学校】報告書」 平成20年11月
- ・文部科学省 国立教育政策研究所「平成21年度 全国学力・学習状況調査【小学校】報告書」 平成21年12月
- ・国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成19年度 全国学力・学習状況調査解説資料 小学校 国語」 平成19年5月
- ・国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成20年度 全国学力・学習状況調査解説資料 小学校 国語」 平成20年4月
- ・国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成21年度 全国学力・学習状況調査解説資料 小学校 国語」 平成21年4月

(62) 解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、
どのように解答しましたか。

- 1 すべての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した
- 2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で
あきらめたりしたものがあつた
- 3 書く問題は全く解答しなかった

あなたは、^{こんかい}今回の^{こくご}国語の^{もんだい}問題について、^{おも}どのように思いましたか。
 つぎの(61)、(62)のそれぞれについて、^あ当てはまるものを1つずつ^{えら}選んでください。

2

(小松左京「つりずきの宇宙人」による。)

(右下に続く)

(小松左京「つりずきの宇宙人」による。)

(右下に続く)

(左上に続く)

小国B-4

小国B-3

※1 「腕がなる」……自分の力を見せたくて、はりきっている様子。

※2 「ケバリ」……エサの虫などのすがたをまねてつくられた、つくりもののエサのついた針。

(小松左京「つりずきの宇宙人」による。)

森内さんの学級では、次の「つりずきの宇宙人」という物語を読んで、思ったことや考えたことを発表し合うことになりました。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

(61) この^{もんだい}問題にあるような、^{なが}長い^{ぶんしょう}文章を^よ読むのは^{むずか}難しい

- 1 ^{むずか}難しいと^{おも}思う
- 2 どちらかといえば、^{むずか}難しいと^{おも}思う
- 3 どちらかといえば、^{むずか}難しいと^{おも}思わない
- 4 ^{むずか}難しいと^{おも}思わない

当てはまる	どちらかといえ ば、当てはまる	どちらかといえ ば、当てはまら ない	当てはま らない
-------	--------------------	--------------------------	-------------

(57) 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている…………… 1 — 2 — 3 — 4

(58) 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てをくふうしている…… 1 — 2 — 3 — 4

(59) 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いている…………… 1 — 2 — 3 — 4

(60) 国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいる…………… 1 — 2 — 3 — 4

14 あなたは、^{こくご}国語についてどのように^{おも}思っていますか。^あ当てはまるものを右の1から4の^{なか}中から1つずつ^{えら}選んでください。

当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

(52) ^{こくご}国語の^{べんきょう}勉強は^す好きだ…………… 1 — 2 — 3 — 4

(53) ^{こくご}国語の^{べんきょう}勉強は^{たいせつ}大切だ…………… 1 — 2 — 3 — 4

(54) ^{こくご}国語の^{じゅぎょう}授業の^{ないよう}内容はよく^わ分かる…………… 1 — 2 — 3 — 4

(55) ^{どくしょ}読書は^す好きだ…………… 1 — 2 — 3 — 4

(56) ^{こくご}国語の^{じゅぎょう}授業で^{がくしゅう}学習したことは、
^{しょうらい}将来、^{しゃかい}社会に出たときに^{やく}役に^た立つ…………… 1 — 2 — 3 — 4

3 質問紙調査項目 (教科関連部分)

解答類型 [点字問題] 【小学校国語】
 A 主として「知識」に関する問題

◎…解答として求める条件をすべて満たしている正答

問題番号	解答類型	類型番号	
1	一 (1)	・イと解答しているもの	1◎
		・上記以外の解答	9
		・無解答	0
	一 (2)	・アと解答しているもの	1◎
		・上記以外の解答	9
		・無解答	0
	一 (3)	・イと解答しているもの	1◎
		・上記以外の解答	9
		・無解答	0
	二 (1)	・イと解答しているもの	1◎
		・上記以外の解答	9
		・無解答	0
	二 (2)	・ウと解答しているもの	1◎
		・上記以外の解答	9
		・無解答	0
	二 (3)	・エと解答しているもの	1◎
		・上記以外の解答	9
		・無解答	0
2		・アに1, イに4と解答しているもの	1
		・アに2, イに3と解答しているもの	2
		・アに1, イに3と解答しているもの	3
		・アに2, イに4と解答しているもの	4◎
		・上記以外の解答	9
		・無解答	0

解答類型

点字問題部分

問題番号	解答類型	類型番号
4	<p>・条件①, ②はいずれも満たしているが, 条件③は満たしていないもの (価格にのみ触れているもの) *条件④を満たしているかどうかは不問とする。</p> <p>(例) ○ (選ぶ目覚まし時計は,) C (です。理由は,) 価格が四二〇〇円であるので, 家族に相談して決めた「五〇〇〇円より安いもの」という内容に合っているからです。</p> <p>・条件①, ③はいずれも満たしているが, 条件②は満たしていないもの (目覚まし音にのみ触れているもの) *条件④を満たしているかどうかは不問とする。</p> <p>(例) ○ (選ぶ目覚まし時計は,) C (です。理由は,) 好きな音楽を目覚まし音にすることができるので, 「音楽で目覚めることができる」という内容に当てはまるからです。</p>	4
	<p>・条件①は満たしているが, 条件②, ③はいずれも満たしていないもの *条件④を満たしているかどうかは不問とする。</p> <p>(例 1) ○ (選ぶ目覚まし時計は,) C (です。理由は,) ボタンをおすと, 時刻の表示が, 日付の表示に切りかわるという機能がついているからです。 ○ (選ぶ目覚まし時計は,) C (です。理由は,) 中島さんは, C の目覚まし時計を買えばいいと思います。なぜなら, 三つの中で四角いのはこれだけだからです。 *価格と目覚まし音を理由にして書いていない。</p> <p>(例 2) ○ (選ぶ目覚まし時計は,) C (です。理由は,) ぼくは, この三つの目覚まし時計の中で, どれが一番いいだろうと考えました。ぼくが一番いいなと思った目覚まし時計は, C です。 *理由を書いていない。</p> <p>(例 3) ○ (選ぶ目覚まし時計は,) C (です。理由は,) *記号のみ書いている。</p>	5
	<p>・上記以外の解答</p>	9
	<p>・無解答</p>	0

問題番号	解答類型	類型番号
4	<p>・条件①, ②, ④のいずれも満たしているもののうち, 条件③について, 【決めたこと】に合うということにのみ触れているもの (例示の下線部は関係箇所)</p> <p>(例4)</p> <p>○ (選ぶ目覚まし時計は,) C (です。理由は,) 価格が四二〇〇円で五〇〇〇円より安くて, 目覚まし音が<u>決めたことに合っている</u>からです。よって, Cの目覚まし時計を選びます。(79字)</p> <p>* Cの目覚まし時計の目覚まし音が【決めたこと】の内容に合うということのみ書いている。</p> <p>・条件①, ④のいずれも満たしているもののうち, 条件②, ③について, 【決めたこと】に合うということにのみ触れているもの (例示の下線部は関係箇所)</p> <p>(例5)</p> <p>○ (選ぶ目覚まし時計は,) C (です。理由は,) 価格が<u>決めたことに合っている</u>し, 目覚まし音も<u>決めたことに合っている</u>からです。したがって, Cの目覚まし時計を選びます。(77字)</p> <p>* Cの目覚まし時計の価格も目覚まし音も【決めたこと】の内容に合うということのみ書いている。</p> <p>・条件①, ④のいずれも満たしているもののうち, 条件②, ③について, AとBの目覚まし時計の価格と目覚まし音に触れ, AとBを消去することでCの目覚まし時計を選んでいるもの (例示の下線部は関係箇所)</p> <p>(例6)</p> <p>○ (選ぶ目覚まし時計は,) C (です。理由は,) <u>Aは目覚まし音が声であるし, Bは価格が五二五〇円であるので, 決めたことをどちらも満たすのはCだけだから</u>です。(73字)</p> <p>* Aの目覚まし時計の目覚まし音が声であるという【資料】の情報と, Bの目覚まし時計の価格が五二五〇円であるという【資料】の情報のみ書いている。</p> <p>(例7)</p> <p>○ (選ぶ目覚まし時計は,) C (です。理由は,) <u>Aは音楽で目覚めることができな</u> <u>いし, Bは五〇〇〇円より高いので, 決めたことをどちらも満たすのはCしかない</u> <u>から</u>です。(76字)</p> <p>* Aの目覚まし時計は目覚まし音の点で, Bの目覚まし時計は価格の点で, 【決めたこと】の内容に合わないことのみ書いている。</p>	
	<p>・条件①, ②, ③はいずれも満たしているが, 条件④は満たしていないもの</p>	3

問題番号	解答類型	類型番号
4	<p>(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。</p> <p>① 選ぶ目覚まし時計を「C」と書いている。 ② 目覚まし時計の価格について触れている。 * Cの目覚まし時計の価格について、【資料】にある「四二〇〇円」と、【決めたこと】にある「五〇〇〇円より安い」という具体的な数値をいずれも書いている。 ③ 目覚まし時計の目覚まし音について触れている。 * Cの目覚まし時計の目覚まし音について、【資料】と【決めたこと】にある「音楽」という具体的な言葉を書いている。 ④ 書き出しの言葉を含めて、60字以上、80字以内で書いている。</p> <hr/> <p>・条件①、②、③、④のいずれも満たしているもの</p> <p>(例) ○ (選ぶ目覚まし時計は,) C (です。理由は,) 価格が四二〇〇円で五〇〇〇円より安く、好きな音楽を目覚まし音にして目覚めることができ、決めたことを両方満たすからです。(79字) * 条件②に示す価格の面からは、「【資料】の情報を読むと、Cの目覚まし時計の価格は四二〇〇円であるので、Cの目覚まし時計は、【決めたこと】の『五〇〇〇円より安いもの』という内容に合う」ということを書いている。 * 条件③に示す目覚まし音の面からは、「【資料】の情報を読むと、Cの目覚まし時計の目覚まし音は音楽であるので、Cの目覚まし時計は、【決めたこと】の『音楽で目覚めることができるもの』という内容に合う」ということを書いている。</p> <hr/> <p>・条件①、③、④のいずれも満たしているもののうち、条件②については、【資料】あるいは【決めたこと】にのみ触れている、あるいは、【決めたこと】に合うということにのみ触れているもの(例示の下線部は関係箇所)</p> <p>(例1) ○ (選ぶ目覚まし時計は,) C (です。理由は,) Cの目覚まし時計は、<u>価格が四二〇〇円だし</u>、好きな音楽を目覚まし音にすることができるからです。したがって、Cを選びます。(78字) * Cの目覚まし時計の価格が四二〇〇円であるという【資料】の情報のみ書いている。</p> <p>(例2) ○ (選ぶ目覚まし時計は,) C (です。理由は,) <u>五〇〇〇円より安い</u>し、音楽で目覚めることができるからです。よって、中島さんは、Cの目覚まし時計を選べばよいと思います。(78字) * 五〇〇〇円より安いものを選ぶという【決めたこと】の内容のみ書いている。</p> <p>(例3) ○ (選ぶ目覚まし時計は,) C (です。理由は,) 価格が<u>決めたことに合っている</u>し、好きな音楽を目覚まし音にすることができるからです。だから、Cの目覚まし時計を選びました。(79字) * Cの目覚まし時計の価格が【決めたこと】の内容に合うということのみ書いている。</p> <p style="text-align: right;">〈次頁に続く〉</p>	<p>1◎</p> <hr/> <p>2◎</p>

問題番号	解答類型	類型番号	
3	一 ①	・「写真①を示す」にアと解答しているもの	1
		・「写真①を示す」にイと解答しているもの	2
		・「写真①を示す」にウと解答しているもの	3◎
		・「写真①を示す」にエと解答しているもの	4
		・「写真①を示す」にオと解答しているもの	5
		・上記以外の解答	9
		・無解答	0
	一 ②	・「写真②を示す」にアと解答しているもの	1
		・「写真②を示す」にイと解答しているもの	2
		・「写真②を示す」にウと解答しているもの	3
		・「写真②を示す」にエと解答しているもの	4◎
		・「写真②を示す」にオと解答しているもの	5
		・上記以外の解答	9
		・無解答	0

問題番号	解答類型	類型番号
2	<p>二</p> <p>(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 思ったことや考えたことと、その理由を明確に書いている。 ② 60字以上，80字以内で書いている。</p> <hr/> <p>・条件①，②のいずれも満たしているもの</p> <p>(例) ○ なんとかしてコイノボリをつり上げようとする二人の宇宙人の様子を想像し，思わず笑いたくなりました。なぜなら，コイノボリを大きなさかなだと思いこんでいたからです。(80字) ○ ケンちゃんは，コイノボリをつろうとしたのがだれだったのかを，その後どのように考えたのか知りたくなりました。わたしだったら，その事実をはっきりさせたいからです。(80字) ○ 大ものをつり上げたいという宇宙人たちの気持ちがよく伝わってきました。「まっか」，「ウンウン」，「ふうふう」などの言葉が，その気持ちをよく表しているからです。(79字) ○ コイノボリがあちこちで泳いでいる様子を書いて話を終えたところが，上手だと思います。理由は，人物のその後の行動や話の続きなどを読者が想像する効果があるからです。(80字)</p> <hr/> <p>・条件①は満たしているが，条件②は満たしていないもの</p> <hr/> <p>・上記以外の解答</p> <hr/> <p>・無解答</p>	<p>1◎</p> <hr/> <p>2</p> <hr/> <p>9</p> <hr/> <p>0</p>

問題番号	解答類型	類型番号
<p>②</p> <p>一 (1)</p>	<p>(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 「(宇宙人が) さかな (のいる星) をさがしに出かけた」 ことについて触れている。 ② 40字以上, 60字以内で書いている。</p> <hr/> <p>・条件①, ②のいずれも満たしているもの</p> <p>(例) ○ 大ものをつろうとはりきっている二人の宇宙人は, 近所でのつりをあきらめ, さかなのいる星をさがしにはるか遠くまで出かけた。(60字) ○ 宇宙人二人は, このごろ大きなえものがかからない近所のつり場を変え, さかなのいる星をさがしにはるか遠くの宇宙に出かけた。(60字) ○ 二人の宇宙人は, 話し合いをした結果, 大ものを求めることを決め, はるか遠くの宇宙に, さかなのいる星をさがしに出かけた。(59字)</p> <hr/> <p>・条件①, ②のいずれも満たしているが, [] 部の最後の三行を抜き出すことで解答しているもの</p> <p>(例) ○ 二人の宇宙人は, 宇宙船にのって, はるか遠くの宇宙に, さかなのいる星をさがしに出かけた。(44字)</p> <hr/> <p>・条件①は満たしているが, 条件②は満たしていないもの</p> <hr/> <p>・条件①に関して, 「(宇宙人が) さかな (のいる星) をさがしに出かけた」 ことについて触れているが, 「宇宙人がコイノボリをつろうとしたこと」, 「ケンちゃんに関すること」など, [] 部の範囲外のあらすじを書いているもの</p> <p>* 「宇宙人がつりずきであること」, 「近所では大きなさかなのいる星がすくなくなったこと」など, 「はじめ」の部分に該当するような事柄については, 内容の重複ととらえ, 範囲外のあらすじであるとは判断しない。</p> <p>* 条件②を満たしているかどうかは不問とする。</p> <hr/> <p>・上記以外の解答</p> <hr/> <p>・無解答</p>	<p></p> <hr/> <p>1◎</p> <hr/> <p>2◎</p> <hr/> <p>3</p> <hr/> <p>4</p> <hr/> <p>9</p> <hr/> <p>0</p>
<p>一 (2)</p>	<p>・Aに1, Bに4と解答しているもの</p> <hr/> <p>・Aに1と解答しているが, Bに4と解答していないもの</p> <hr/> <p>・Aに1と解答していないが, Bに4と解答しているもの</p> <hr/> <p>・上記以外の解答</p> <hr/> <p>・無解答</p>	<p>1◎</p> <hr/> <p>2</p> <hr/> <p>3</p> <hr/> <p>9</p> <hr/> <p>0</p>

解答類型【小学校国語】

B 主として「活用」に関する問題

◎…解答として求める条件をすべて満たしている正答

○…設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答

問題番号	解答類型		類型番号
1	ア	・写真を掲載するという方法について解答しているもの (例) ・写真を入れる ・写真をのせる	1◎
		・上記以外の解答	9
		・無解答	0
	イ	・出来事の様子が詳しく分からないという問題点について解答しているもの (例) ・できごとの様子がくわしく分からない ・できごとがくわしく分からない ・様子がくわしく分からない ・できごとの様子が分からない	1◎
		・上記以外の解答	9
		・無解答	0

解答類型

B 主として「活用」に関する問題

問題番号	解 答 類 型		類型番号
9	ア	・「走り続ける」と解答しているもの	1◎
		・「走る続ける」と解答しているもの	2
		・上記以外の解答	9
		・無解答	0
	イ	・「結ぶ」と解答しているもの	1◎
		・「結び」と解答しているもの	2
		・上記以外の解答	9
		・無解答	0

問題番号	解答類型	類型番号
5	・①にイ, ②にア, ③にエ, ④にウと解答しているもの	1◎
	・①にイ, ②にエ, ③にア, ④にウと解答しているもの (②と③を逆にして解答しているもの)	2
	・①にウ, ②にア, ③にエ, ④にイと解答しているもの (①と④を逆にして解答しているもの)	3
	・上記以外の解答	9
	・無解答	0
6	・1と解答しているもの	1
	・2と解答しているもの	2
	・3と解答しているもの	3◎
	・4と解答しているもの	4
	・上記以外の解答	9
	・無解答	0
7	・1と解答しているもの	1
	・2と解答しているもの	2◎
	・3と解答しているもの	3
	・4と解答しているもの	4
	・上記以外の解答	9
	・無解答	0
8	・「共通語」に2・3, 「方言」に1・4と解答しているもの	1◎
	・「共通語」に2・3と解答しているが, 「方言」に1・4と解答していないもの	2
	・「共通語」に2・3と解答していないが, 「方言」に1・4と解答しているもの	3
	・「共通語」に1・4, 「方言」に2・3と解答しているもの (1・4と2・3の組合せを逆にして解答しているもの)	4
	・上記以外の解答	9
	・無解答	0

問題番号	解答類型	類型番号
2	・ 1 と解答しているもの	1
	・ 2 と解答しているもの	2
	・ 3 と解答しているもの	3
	・ 4 と解答しているもの	4◎
	・ 上記以外の解答	9
	・ 無解答	0
3	・ アに「母さん」、イに「おじいちゃん」、ウに「ぼく」と解答しているもの	1◎
	・ アに「母さん」、イに「おじいちゃん」、ウに「ぼく」と同じ意味で、本文中の言葉を使って解答しているもの (例) ア「かあさん」、「母」 イ「おじいさま」、「じいちゃん」 ウ「僕」	2○
	・ 上記以外の解答	9
	・ 無解答	0
4	・ 「開会式の集合時こくにおくれないように」と解答しているもの	1◎
	・ 「ないように」を使って、①の書き方に合わせ、「開会式の集合時こくにおくれないように」という意味を変えないで解答しているもの（例示の下線部は関係箇所） (例) ・ 開会式に <u>集まる</u> 時こくにおくれないように ・ 開会式の集合 <u>時間</u> におくれないように	2○
	・ 「ないように」を使わず、①の書き方に合わせていないが、「開会式の集合時こくにおくれないように」という意味は変えないで解答しているもの（例示の下線部は関係箇所） (例) ・ 開会式の集合 <u>時間</u> におくれないよう ・ 開会式に <u>集まる</u> 時こくにおくれない <u>ために</u> ・ 開会式の集合時こくに <u>間に</u> 合うように	3○
	・ 上記以外の解答	9
	・ 無解答	0

解答類型 【小学校国語】

A 主として「知識」に関する問題

◎…解答として求める条件をすべて満たしている正答

○…設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答

問題番号	解答類型	類型番号	
1	一 (1)	・「な(れる)」と解答しているもの	1◎
		・上記以外の解答	9
		・無解答	0
	一 (2)	・「もくじ」と解答しているもの	1◎
		・「もく」と解答しているが、「じ」と解答していないもの	2
		・「もく」と解答していないが、「じ」と解答しているもの	3
		・上記以外の解答	9
		・無解答	0
	一 (3)	・「せいけつ」と解答しているもの	1◎
		・「せい」と解答しているが、「けつ」と解答していないもの	2
		・「せい」と解答していないが、「けつ」と解答しているもの	3
		・上記以外の解答	9
		・無解答	0
	二 (1)	・「久(しぶりに)」と解答しているもの	1◎
		・上記以外の解答	9
		・無解答	0
	二 (2)	・「技術」と解答しているもの	1◎
		・「技」と解答しているが、「術」と解答していないもの	2
		・「技」と解答していないが、「術」と解答しているもの	3
		・上記以外の解答	9
		・無解答	0
二 (3)	・「変化」と解答しているもの	1◎	
	・「変」と解答しているが、「化」と解答していないもの	2	
	・「変」と解答していないが、「化」と解答しているもの	3	
	・上記以外の解答	9	
	・無解答	0	

2 解答類型

A 主として「知識」に関する問題

調査問題一覧表 【小学校国語】
B 主として「活用」に関する問題

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			
			聞話	書	読	言語	関心・語	話す・聞	書	読	知識・理	選	短	記
			くす	く	む	語	心・語	す・聞	く	む	識・理	択	答	述
			ここ	こ	こ	事	欲・へ	く能	能	解・技	式	式	式	
			とと	と	と	項	態度の	力	力	能の				
1	ア 学校新聞に対する二つの意見の共通点を書く	目的や意図に応じて、読み手が評価した内容を整理し、表現の効果などについて確かめたり工夫したりする		○			○		○				○	
	イ 学校新聞に対する二つの意見の相違点を書く			○			○		○				○	
2	一(1) 物語を読んで、指示された部分についてのあらすじを書く	登場人物の行動や場面の移り変わりに注意しながら、あらすじを書く			○	○	○			○	○			○
	一(2) 物語を読んで、発表した内容の中に入る適切な言葉を選択する	物語全体の構成の効果をとらえる			○					○		○		
	二 物語を読んで思ったことや考えたことと、その理由を書く	物語を読んで思ったことや考えたことを、理由を明確にしてまとめて書く			○		○			○				○
3	一① 発表の中で写真を示す場面として適切な箇所を選択する	伝えたいことと資料とを関係付け、資料を効果的に提示して話す	○					○				○		
	一②		○					○				○		
	二 話し手が聞き手に問いかけるよさについての説明を書く	目的や意図に応じて、聞き手を引き付けるように話す	○				○	○						○
	三 聞き手が質問した内容に合う質問の観点を選択する	話の中心や話し手の意図をとらえながら聞き、適切に質問する	○					○				○		
4	三つの時計の中から、条件に合ったものを選び、それを選んだ理由を書く	目的や意図に応じて、必要な情報を関係付けて読み、理由を明確にして説明する			○		○			○			○	

調査問題一覧表 【小学校国語】
A 主として「知識」に関する問題

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式		
			聞話	書	読	言語	関心・語意欲・態度の	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・語理解・技能の	選択式	短答式
1	一 (1) 漢字を読む (新しいクラスに慣れる)	学年別漢字配当表の当該学年の前の学年までに配当されている漢字を正しく読む				○					○		○
	一 (2) 漢字を読む (本の目次を見る)					○				○		○	
	一 (3) 漢字を読む (いつも清潔なハンカチを持つ)					○				○		○	
	二 (1) 漢字を書く (ひさしぶりにおじさんに会う)	学年別漢字配当表の当該学年の前の学年までに配当されている漢字を正しく書く				○				○		○	
	二 (2) 漢字を書く (ぎじゅつが進歩する)					○				○		○	
	二 (3) 漢字を書く (星の位置がへんかする)					○				○		○	
2	説明的な文章の中に入る適切な言葉を選択する	説明的な文章の内容を的確に押さえながら読む				○				○		○	
3	物語の登場人物の関係をとらえて書く	文学的な文章に登場する人物を相互に関係付けて読む				○				○		○	
4	メモを基にして、児童会だよりの中に入る適切な内容を書く	文と文との意味のつながりを理解し、文の論理を考えて書く		○		○	○		○		○	○	
5	意見文を書く内容をまとめた4枚のカードを構成した順番に並べ替える	自分の考えが明確になるように、文章全体の構成の効果を考えて書く		○					○		○		
6	見学したことの説明の工夫として適切なものを選択する	聞き手が理解しやすいように、話の全体の構成を工夫する	○					○			○		
7	国語辞典を利用して、複数の言葉の意味の中から適切なものを選択する	文脈に適した多義語の意味を理解する				○				○		○	
8	共通語と方言の使い方として適切なものをそれぞれ選択する	共通語と方言との違いを押さえ、それぞれの使い方を理解する				○				○		○	
9	ア 二つの言葉を組み合わせて、一つの言葉にして書く	語句の構成や語形の変化を理解する				○				○		○	
	イ 一つの言葉を二つの言葉に分けて書く					○				○		○	

1 調查問題一覽表

(SOY INK)

本書の一部または全部を無断で転載、複製することを禁じます。